

令和2年度 一般会計決算附属資料

商工観光部 主要な施策の成果

予算科目	款	05 労働費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部																												
	項	01 労働諸費	8,328千円	8,395千円	67千円	99.2 %																														
	目	01 労働諸費				(参考)当初予算額																														
	事	02 就労支援事業				6,489千円	課	商工振興課																												
	細事	01 人材確保・就職促進対策事業	国補	地方創生推進交付金(1/2)	230千円																															
			国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	4,500千円																															
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源																																	
目的	京丹後市地域雇用促進協議会が実施する人材確保・就職促進事業費の一部を負担し、市内事業所の人材確保を支援、また資格取得を目指す求職者等の支援を行うとともに、職業訓練事業実施団体の運営・訓練費を補助し、雇用の安定化と就職促進を図る。																																			
主要な事務・事業の概要	○人材確保対策事業		5,466千円	◆丹後地域職業訓練協会運営費補助金					2,072千円																											
	◆京丹後市地域雇用促進協議会負担金		5,466千円	<ul style="list-style-type: none"> 職業訓練講座：22講座25コース実施（R元：21講座21コース） 受講者：延べ295人（市内187人）（R元：延べ287人（市内167人）） 																																
	<ul style="list-style-type: none"> 高校生地元企業見学ツアー（参加者延べ29人、訪問先9社） 教育訓練教材貸与（観光業、製造業関連の映像教材） 教育訓練用講座（Webセミナー：オンデマンド配信） オンライン合同企業説明会（参加者延べ388人、参加企業18社） 			◆職業訓練校事業費補助金（実施主体：京丹後市商工会）					409千円																											
	○就職促進対策事業		2,839千円	○職員旅費					16千円																											
	◆職業能力向上支援補助金		358千円	○有料道路通行料					7千円																											
	<ul style="list-style-type: none"> 交付件数：76件 交付者数：46人 補助率：研修受講料の2分の1以内（上限額：年間2万円/人） 補助金実績 			○京丹後市地域雇用促進協議会の事業に対し負担金を支出し、新型コロナウイルス感染症対策を含む雇用対策事業、人材育成事業、研修事業に取り組むことで、企業等の人材確保に貢献した。																																
							○各種研修・職業訓練事業に対する支援を行うことで、労働者や求職者のスキルアップを図るとともに、求職者等の就労を促すことができた。																													
							○スキルを習得した人材、U・Iターン希望者と企業とのマッチングを図るため、引き続き人材確保や就労促進のための取組を実施する必要がある。																													
							<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付件数(件)</td> <td>64</td> <td>49</td> <td>67</td> <td>62</td> <td>71</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>交付額(千円)</td> <td>532</td> <td>299</td> <td>384</td> <td>298</td> <td>332</td> <td>358</td> </tr> <tr> <td>交付者数(人)</td> <td>49</td> <td>31</td> <td>40</td> <td>38</td> <td>42</td> <td>46</td> </tr> </tbody> </table>			H27	H28	H29	H30	R元	R2	交付件数(件)	64	49	67	62	71	76	交付額(千円)	532	299	384	298	332	358	交付者数(人)	49	31	40	38	42	46
	H27	H28	H29	H30	R元	R2																														
交付件数(件)	64	49	67	62	71	76																														
交付額(千円)	532	299	384	298	332	358																														
交付者数(人)	49	31	40	38	42	46																														

予算科目	款	05 労働費	本年度決算額 9,957千円	最終予算額 10,000千円	不用額 43千円	執行率 99.5 % (参考)当初予算額 0千円	部 商工観光部															
	項	01 労働諸費																				
	目	01 労働諸費																				
	事	03 中小企業緊急雇用調整助成事業																				
	細事	01 中小企業緊急雇用調整助成事業																				
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源 国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 9,500千円																		
目的	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業活動の縮小を余儀なくされた事業者に対して、国の助成金と協調し、市独自の助成金を上乗せして交付することにより、事業者の経費負担の軽減、雇用の維持等、雇用の安定化を図る。																					
主要な事務・事業の概要	○中小企業緊急雇用調整助成金 9,957千円			(参考)																		
	新型コロナウイルス感染症の影響により事業活動の縮小を余儀なくされた市内中小企業者が、雇用する労働者に対して一時的に休業、教育訓練又は出向を行い雇用の維持を図った場合に、国から受けられる雇用調整助成金、緊急雇用安定助成金に上乗せして助成した。			国の雇用調整助成金、緊急雇用安定助成金																		
	<table border="1"> <tr> <td>交付件数</td> <td>45 件</td> <td>交付企業数</td> <td>6 社</td> </tr> </table>			交付件数	45 件	交付企業数	6 社	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R2.1.24~</td> <td>R2.4.1~</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">助成率</td> <td>中小企業 2/3</td> <td>中小企業 4/5 (10/10)</td> </tr> <tr> <td>大企業 1/2</td> <td>大企業 2/3 (3/4)</td> </tr> <tr> <td>上限額</td> <td>8,330円</td> <td>15,000円</td> </tr> </table>						R2.1.24~	R2.4.1~	助成率	中小企業 2/3	中小企業 4/5 (10/10)	大企業 1/2	大企業 2/3 (3/4)	上限額	8,330円
	交付件数	45 件	交付企業数	6 社																		
		R2.1.24~	R2.4.1~																			
助成率	中小企業 2/3	中小企業 4/5 (10/10)																				
	大企業 1/2	大企業 2/3 (3/4)																				
上限額	8,330円	15,000円																				
【交付内訳】		※括弧書きの助成率は解雇等を行わない場合																				
<table border="1"> <tr> <td>雇用調整助成金（被保険者）</td> <td>39件</td> <td>9,730千円</td> </tr> <tr> <td>緊急雇用安定助成金（被保険者以外）</td> <td>6件</td> <td>227千円</td> </tr> </table>		雇用調整助成金（被保険者）	39件	9,730千円	緊急雇用安定助成金（被保険者以外）	6件	227千円															
雇用調整助成金（被保険者）	39件	9,730千円																				
緊急雇用安定助成金（被保険者以外）	6件	227千円																				
【助成額】																						
<p>国の助成金の「基準賃金額」から「国の1人日あたりの助成金額」を控除した額に、「月間休業等延日数」を乗じた額</p> <p>※国と市を合わせた1人日あたりの助成額上限 国の上限額の4分の5</p>																						
成果・課題	<p>○国の助成金と合わせて市独自の助成金を交付することにより、事業者の経費負担の軽減、雇用の維持等、雇用の安定化を図ることができた。</p> <p>○緊急事態宣言の再発令により、飲食・観光業を中心に未だ回復の兆しを見せておらず、当面は厳しい状況であることが予想される。国の特例措置が段階的に縮小される中で、雇用の維持を図り、事業者の経費負担を軽減するためにも、本事業の周知を行い、引き続き支援をしていく必要がある。</p>																					

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 9,750千円	最終予算額 9,912千円	不用額 162千円	執行率 98.3 % (参考)当初予算額 6,171千円	部 商工観光部	
	項	01 商工費						
	目	01 商工総務費						
	事	50 商工総務一般経費						
	細事	01 商工総務一般経費						
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源					
目的	商工行政に係る業務を推進するために必要な経費及び公用車の維持管理費							
主要な事務・事業の概要	○公用車維持管理経費（商工観光部管理台数：8台）		1,501千円	○会計年度任用職員任用経費		8,060千円		
	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料代 604千円 ・車検代、修理代、保険代 860千円 ・テレビ受信料 15千円 ・ETCカード発行手数料等 22千円 			<ul style="list-style-type: none"> ・報酬 5,769千円 ・職員手当等 723千円 ・共済費 1,103千円 ・費用弁償 465千円 				
	○消耗品費（事務用品）		134千円	※産休・育休代替1人				
	○旅費		55千円	※新型コロナウイルス感染症対策関係相談業務等4人 (R2.6月～R2.8月：4人、R2.9月～R3.3月：3人)				
				成果・課題	○公用車の維持のため、メンテナンスや点検などを的確に行うことで、職員が業務に支障なく取り組めた。 ○会計年度任用職員を任用することで、早急な対応が必要となる新型コロナウイルス感染症対策事業の相談・支援業務を円滑に行うことができた。 ○公用車の老朽化が進む中、使用前後の点検等を徹底するなど、車両の長寿命化を図る必要がある。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部								
	項	01 商工費							75,769千円	76,733千円	964千円	98.7%				
	目	02 商工振興費											(参考)当初予算額			
	事	01 商工会助成事業												80,000千円	課	商工振興課
	細事	01 商工会助成事業														
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]	主な財源	国補	地方創生推進交付金(1/2)	1,256千円											
目的	京丹後市商工会が実施する小規模事業者への経営指導及び相談対応事業、地域産業を総合的に振興する事業、織物指導等、地域産業活性化のためのイベント事業や商店街の環境整備事業に対して支援を行い、本市商工業の総合的な振興・発展を図る。															
主要な事務・事業の概要	○小規模事業経営支援事業費補助金 65,844千円 経営相談、金融斡旋、巡回指導及び小売商業振興事業など地域に密着した活動や事業を支援した。 ・経営改善普及指導事業分 62,500千円 小規模事業者への経営指導、経営相談等の事業費及び指導員の設置費 ・地域総合振興事業分 3,344千円 国内外販路開拓、小売商業振興等					○商店街環境整備事業補助金 733千円 市内商店街等の老朽化した街路灯（スズラン灯）の撤去を支援し、景観の向上と通行の安全確保に寄与した。 ・口大野地区：23本撤去 ・善王寺地区：4本撤去 ※京丹後商工祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止										
	○織物指導等小規模生産基盤整備事業費補助金 9,192千円 延べ1,681件の織物指導や織機調整事業と50件の小規模な生産基盤整備を支援し、織機の改良と機能維持で丹後の織物技術を維持し、製品の品質確保を図った。					○商工会による小規模事業者への巡回指導や織物事業者への技術指導及び小規模生産基盤整備への支援に加え、国・府・市等の新型コロナウイルス感染症対策支援に係る給付金等の申請支援を行い、事業者の経営安定化に寄与した。 ○小規模事業者の継続的発展による事業承継を進めるため、商工会による経営指導等の伴走支援が重要な役割を担っており、引き続き地域経済の活性化に向けて支援する必要がある。										

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 41,538千円	最終予算額 41,538千円	不用額 0千円	執行率 100.0 % (参考)当初予算額 36,760千円	部 商工観光部
	項	01 商工費					
	目	02 商工振興費					
	事	02 京丹後ブランド推進事業					
	細事	01 丹後地域地場産業振興センター運営費補助金					
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源				
目的	丹後地域地場産業振興センターが行う地場産業の振興を図る各種事業や施設管理を支援することで、本市における地場産業の総合的な振興を図る。						
主要な事務・事業の概要	<p>公益財団法人丹後地域地場産業振興センターが行う施設管理、丹後ブランド製品の販売、地場製品の販路拡大、新商品の開発、人材育成、情報の収集・提供、展示室の有効活用など地場産業の振興を図る各種事業の実施に対し、補助金を交付した。</p> <p>○公益財団法人丹後地域地場産業振興センター運営費補助金 38,938千円</p> <p>【主な実施事業】</p> <p>◆新商品・新技術開発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 高機能急速冷凍装置の活用による新サービス開発事業 (延べ利用回数148回、実利用事業者数21事業者) 商品の品質向上及び適正表示指導事業 《食品品質向上セミナーの開催》53企業、82人 《栄養成分分析サービス》7社、16件 <p>◆需要開拓事業</p> <ul style="list-style-type: none"> Tango Good Goods認定事業及び販売促進事業 令和2年度認定数：45業者、86商品 「Tango Good Goods見本市」の開催：10/17～18 宮津市民体育館 来場者数 3,600人、小売店バイヤー等来場者数 30人、商談数 26件 <p>※各地域での物産展・イベント等は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>			<p>◆地場産品展示普及支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 地場産品の常設展示及びECサイトでの販売 (164業者、約3,000品目、年間売上54,146千円) 株式会社白洋舎と連携し、全国6万世帯へ商品紹介パンフレットの配付 <p>◆人材育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 手機教室 1回、受講者4人 <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止により回数を減らして開催 きもの着付教室、染色教室は中止</p> <p>○公益財団法人丹後地域地場産業振興センター大規模改修補助金 2,600千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 玄関タイル修繕工事 			
					成果・課題	<p>○食品衛生法の改正に対応した商品の開発を進めるため、食品品質向上セミナーを開催し、食品製造・加工に関わる事業者の理解を深めることができた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響による店舗販売や物産展等での販売が減少する中、独自のECサイトによる通信販売やふるさと納税サイトへの出品により、対面販売以外の新たな販路を開拓することができた。</p> <p>○施設の老朽化が進んでいるため、優先順位を定め、計画的に修繕していく必要がある。</p>	

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 34,968千円	最終予算額 34,971千円	不用額 3千円	執行率 99.9 % (参考)当初予算額 37,104千円	部 商工観光部																										
	項	01 商工費																															
	目	02 商工振興費																															
	事	03 経営支援事業																															
	細事	01 金融支援事業																															
課	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		課 商工振興課																														
総合計画 基本計画			主な財源	国補 繰入金		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 ふるさと応援基金繰入金		31,000千円 2,000千円																									
目的	市内事業者による運転資金や設備資金の借入に係る信用保証料及び利子に対して補助を行うことにより、資金調達の円滑化と借入に係る負担の軽減を図り、市内中小企業者の経営の安定化と成長の促進を図る。																																
主要な事務・事業の概要	○京丹後市商工業経営安定利子補給金 2,183千円 市内商工業者等が活用した京都府、京丹後市及び政府系金融機関制度融資の借入金の利子を、借入利率のうち1.7%（平成27年度以降の借入）又は、1.8%を超える部分（平成28年度の借入）で最大2.5%分、1業者当たり年度内100万円を限度に交付した。		2,183千円		○京丹後市信用保証料補助 25,665千円 京都府、京丹後市及び政府系金融機関制度融資に係る市内中小企業者の信用保証料について、新型コロナウイルス感染症緊急支援として特例補助率（拡充）を設けて補助金を交付した。		25,665千円																										
	<table border="1"> <tr> <td>交付件数</td> <td>50件</td> <td>交付額</td> <td>2,183千円</td> </tr> </table>		交付件数	50件	交付額	2,183千円			<table border="1"> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>建設業</th> <th>製造業</th> <th>卸売・小売業</th> <th>飲食店 宿泊業</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数(件)</td> <td>13</td> <td>24</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>26</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>交付額(千円)</td> <td>3,590</td> <td>6,883</td> <td>4,340</td> <td>4,810</td> <td>6,042</td> <td>25,665</td> </tr> </tbody> </table>		業種	建設業	製造業	卸売・小売業	飲食店 宿泊業	その他	合計	件数(件)	13	24	20	20	26	103	交付額(千円)	3,590	6,883	4,340	4,810	6,042	25,665		
	交付件数	50件	交付額	2,183千円																													
業種	建設業	製造業	卸売・小売業	飲食店 宿泊業	その他	合計																											
件数(件)	13	24	20	20	26	103																											
交付額(千円)	3,590	6,883	4,340	4,810	6,042	25,665																											
○新型コロナウイルス感染症対策利子補給金 6,608千円 市内商工業者等が活用した京都府、京丹後市及び政府系金融機関制度融資の借入金の利子を、借入利率のうち0.46%分（令和2年1月29日以降の借入）を1業者当たり年度内100万円を限度に交付した。		6,608千円		○平成29年台風18号被災中小企業者等災害復旧融資支援補助金 92千円 被災事業者の復旧に要した融資の利子を60月分、1/2を補助した。		92千円																											
<table border="1"> <tr> <td>交付件数</td> <td>127件</td> <td>交付額</td> <td>6,608千円</td> </tr> </table>		交付件数	127件	交付額	6,608千円			<table border="1"> <tr> <td>交付件数</td> <td>3事業所</td> <td>交付対象融資額</td> <td>25,278千円</td> <td>交付額</td> <td>92千円</td> </tr> </table>		交付件数	3事業所	交付対象融資額	25,278千円	交付額	92千円																		
交付件数	127件	交付額	6,608千円																														
交付件数	3事業所	交付対象融資額	25,278千円	交付額	92千円																												
○経営力向上企業支援利子補給金 420千円 市内商工業者等が経営力向上計画の認定を受け、市内に支店又は支所を有する民間金融機関、又は政府系金融機関から設備資金の融資を受けた場合にその利子について、借入利率のうち0.1%分を1事業者当たり年度内20万円を限度に交付した。		420千円		成果・課題		○資金借入に伴う信用保証料や利子の負担を軽減することにより、市内商工業者の経営の安定化と成長の促進に資することができた。 ○利子補給により経営力向上計画の認定を誘導し、事業所の生産性向上に資することができた。 ○新型コロナウイルス感染症の影響を受け、先行きが見通せない非常に厳しい経営状況にある市内商工業者の資金調達を円滑にするため、必要に応じ効果的な支援の在り方を検討する必要がある。																											
<table border="1"> <tr> <td>交付件数</td> <td>24件</td> <td>交付額</td> <td>420千円</td> </tr> </table>		交付件数	24件	交付額	420千円																												
交付件数	24件	交付額	420千円																														

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							26,487千円	26,614千円	127千円	99.5 %
	目	02 商工振興費										(参考)当初予算額
	事	03 経営支援事業										27,400千円
	細事	02 商工業支援事業										
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源	府補	きょうと地域連携交付金（商工業支援事業）	13,200千円						
		繰入金		ふるさと応援基金繰入金	10,000千円							
目的	創業支援のほか、空き店舗・空き工場の活用、新商品の開発、販路開拓、知的財産権取得、織物業や機械金属業等製造・加工業における経営力向上のための設備投資など市内商工業者の新たな取組への支援を行い、地域経済の活性化を図る。											
主要な事務・事業の概要	○創業等支援補助金 13,743千円 中小企業者等が行う創業や空き店舗の活用に関する取組を支援した。											
	内訳	<table border="1"> <tr> <td>創業支援事業（創業時）</td> <td>16件</td> <td>11,576千円</td> </tr> <tr> <td>空き店舗・空き工場等の活用促進事業（開業時）</td> <td>3件</td> <td>2,167千円</td> </tr> </table>	創業支援事業（創業時）	16件	11,576千円	空き店舗・空き工場等の活用促進事業（開業時）	3件	2,167千円				
創業支援事業（創業時）	16件	11,576千円										
空き店舗・空き工場等の活用促進事業（開業時）	3件	2,167千円										
	○商工業支援補助金 227千円 中小企業等が行う知的財産権取得事業1件の取組を支援した。											
	○製造・加工業経営革新等推進事業補助金 12,517千円 織物業及び機械金属業等の製造・加工業の中小企業者等が行う生産設備の 新增設や更新等、経営力向上のための設備投資を支援した。											
	織物業	23件 12,517千円										
	成果・課題	○市民等が行う創業、空き工場等を活用した新たな事業展開への支援及び知的財産権取得等の事業に対して支援を行い、市内商工業の振興、成長促進につなげることができた。 ○経営力向上計画の認定を補助金の交付要件とすることで、同計画認定へ誘導し、事業者の生産能力の向上に資することができた。										

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 323千円	最終予算額 1,000千円	不用額 677千円	執行率 32.3 % (参考)当初予算額 1,000千円	部 商工観光部
	項	01 商工費					
	目	02 商工振興費					
	事	03 経営支援事業					
	細事	02 商工業支援事業（繰越）					
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源	国補 個人番号カード利用環境整備費補助金（10/10） 323千円			
目的	消費税率引き上げに伴う駆け込み、反動減に対応したマイナポイントによる消費活性化に対応するため、マイナポイント取扱店の登録を促し市内経済の循環を図る。						
主要な事務・事業の概要	○消耗品費 73千円						
	○印刷製本費（マイナポイント取扱事業者募集チラシ） 43千円						
○自治体プレミアムポイント取扱事業者募集等業務委託料 207千円							
<ul style="list-style-type: none"> ・委託先 京丹後市商工会 ・業務内容 「マイナンバーカードを活用した消費活性化策」に係る必要な環境整備として、マイキープラットフォームを活用して発行されるマイナポイント事業及びキャッシュレス事業者への登録勧奨。制度周知。 							
		成果・課題		市内事業者（約2,200事業所）にマイナポイント取扱事業者募集のチラシを配付するとともに、京丹後市商工会の経営指導員が経営指導で事業者を訪問するときに制度を周知することで、マイナポイント事業及びキャッシュレス事業者への登録を勧奨することができた。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部								
	項	01 商工費							541,988千円	542,569千円	581千円	99.8 %				
	目	02 商工振興費											(参考)当初予算額			
	事	03 経営支援事業												0千円		
	細事	05 商工業緊急支援事業													課	商工振興課
05 商工業緊急支援事業	国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	538,000千円													
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源													
目的	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対し、緊急的な支援を行い、事業の継続と経営の改善を図るとともに、アフターコロナを見据えた設備投資等を支援することにより、中長期的な市内経済の回復を図る。															
主要な事務・事業の概要	○新型コロナウイルス対策内需拡大促進事業補助金 504,087千円 新型コロナウイルス感染症の影響により低迷する市内経済の回復を図るため、事業者への緊急対策として、感染拡大を防止するための取組や、中長期的な売上高の回復を目指す取組を支援した。			○事業所等感染症対策緊急支援補助金 16,899千円 市内事業所において、新型コロナウイルス感染症拡大を防止し、事業活動を継続できるよう感染症対策の取組を支援した。												
	<table border="1"> <tr> <td>交付件数</td> <td>1,021件</td> <td>交付額</td> <td>504,087千円</td> </tr> </table>			交付件数	1,021件	交付額	504,087千円	<table border="1"> <tr> <td>交付件数</td> <td>232件</td> <td>交付額</td> <td>16,899千円</td> </tr> </table>					交付件数	232件	交付額	16,899千円
	交付件数	1,021件	交付額	504,087千円												
	交付件数	232件	交付額	16,899千円												
○緊急対策家賃支援補助金 1,129千円 国の家賃支援補助金の対象とならない事業者（前年同月比30%以上50%未満の売上減少）の事業の継続を支援するため、市内で事業所を営むための家賃負担の軽減を図った。			○オンライン相談センター開設経費 452千円 社労士事務所委託料、Webカメラ等購入、オンライン会議ツール使用料等													
<table border="1"> <tr> <td>交付件数</td> <td>11件</td> <td>交付額</td> <td>1,129千円</td> </tr> </table>			交付件数	11件	交付額	1,129千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保険労務士オンライン相談 4件 ・ 給付金等申請相談 92件 ・ 国支援金等申請サポート 72件 									
交付件数	11件	交付額	1,129千円													
○事業継続支援特別給付金 7,600千円 国の持続化給付金の対象とならない事業者（前年同月比30%以上50%未満の売上減少）の事業活動の継続を支援するために、事業全般を対象とする給付金を支給した。			○新型コロナウイルス対策緊急支援補助金 11,821千円 京都府中小企業等コロナウイルス対策緊急支援補助金と協調し、市内の中小企業者の影響拡大の防止や早急な業績回復に向けた取組を支援した。													
<table border="1"> <tr> <td>交付件数</td> <td>55件</td> <td>交付額</td> <td>7,600千円</td> </tr> </table>			交付件数	55件	交付額	7,600千円	<table border="1"> <tr> <td>交付件数</td> <td>55件</td> <td>交付額</td> <td>7,600千円</td> </tr> </table>					交付件数	55件	交付額	7,600千円	
交付件数	55件	交付額	7,600千円													
交付件数	55件	交付額	7,600千円													
			○オンライン相談センターを設置することで、パソコン操作に不慣れな事業者に対する各種申請のサポート体制を充実させることができた。													
			成果・課題													
			○新型コロナウイルス対策内需拡大促進事業補助金は、飲食業や宿泊業をはじめ多くの業種から申請があり、売上回復等に向け、事業者に対する中長期的な支援につなげることができた。													
			○国の支援策に該当しない事業者に対し、市が独自支援策として支援することで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内事業者を広く支援することができた。													
			○オンライン相談センターを設置することで、パソコン操作に不慣れな事業者に対する各種申請のサポート体制を充実させることができた。													

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部																			
	項	01 商工費							79,599千円	102,400千円	22,801千円	77.7%															
	目	02 商工振興費																									
	事	03 経営支援事業											(参考)当初予算額														
	細事	06 休業要請対象事業者支援事業												0千円													
課	商工振興課	52,000千円																									
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源	国補 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金																							
目的	新型コロナウイルス感染症拡大防止のために発令された「京都府緊急事態措置」に基づき施設の使用制限や営業時間の短縮等の要請に応じた事業者に対し、給付金を支給するとともに、事業所の事業継続を支援する。																										
主要な事務・事業の概要	○京丹後市休業要請対象事業者支援給付金 52,900千円			○休業要請協力事業者固定資産税免除補助金 26,699千円																							
	<p>令和2年4月に発令された「京都府緊急事態措置」に基づき、施設の使用制限や営業時間の短縮等の要請に応じた事業者に対して、京都府の休業要請対象事業者支援給付金に上乗せし、市の独自施策として京都府の給付金と同額を交付した。</p> <p>【休業対象期間】 令和2年4月17日～5月6日</p> <p>【給付金の額】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中小企業・団体：1施設あたり 20万円 個人事業主：1施設あたり 10万円 <p>【交付件数・金額】</p> <table border="1"> <tr> <td>中小企業・団体</td> <td>交付件数</td> <td>106件</td> <td>交付額</td> <td>21,200千円</td> </tr> <tr> <td>個人事業主</td> <td>交付件数</td> <td>317件</td> <td>交付額</td> <td>31,700千円</td> </tr> </table> <p>【市独自施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内に複数の対象施設を有する事業者が各施設で休止等の対応をした場合、施設ごとに支給 ホテル、旅館については、全館休止した場合も支給 食事提供施設については、終日休業した場合も支給 			中小企業・団体	交付件数	106件	交付額	21,200千円	個人事業主	交付件数	317件	交付額	31,700千円	<p>京都府緊急事態措置に基づく休業要請等に応じた中小企業、個人事業主等に対して、事業の用に供する土地・家屋・償却資産を対象に令和2年度固定資産税の第1期分相当額を補助金として交付した。</p> <p>【休業対象期間】 令和2年4月17日～5月6日</p> <table border="1"> <tr> <td>交付件数</td> <td>106件</td> <td>交付額</td> <td>26,699千円</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>79,600千円</td> </tr> <tr> <td>実質的な予算執行率</td> <td>100.0%</td> </tr> </table> <p>■令和3年度への繰越事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 京都府緊急事態措置協力金市町村負担金 令和4年3月完了予定 22,800千円 					交付件数	106件	交付額	26,699千円	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	79,600千円	実質的な予算執行率	100.0%
	中小企業・団体	交付件数	106件	交付額	21,200千円																						
個人事業主	交付件数	317件	交付額	31,700千円																							
交付件数	106件	交付額	26,699千円																								
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	79,600千円																									
	実質的な予算執行率	100.0%																									
成果・課題	京都府休業要請対象事業者支援給付金への同額上乗せに加え、市独自施策として給付金の支給要件の拡充や固定資産税の一部を補助することにより、事業所等の事業継続を支援することができた。																										

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部						
	項	01 商工費							55,137千円	55,156千円	19千円	99.9 %		
	目	02 商工振興費											(参考)当初予算額	
	事	03 経営支援事業												0千円
	細事	07 みんなのありがとうクーポン券発行事業												
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源	国補		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		53,000千円						
目的	市民全員に1人あたり1,000円分のクーポン券を配付し、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ市内飲食店等の消費を喚起することで、飲食店等及び市民の生活を支援する。													
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○「みんなのありがとうクーポン券」発行事業 55,137千円 <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費（クーポン券、封筒、チラシ、ステッカー） 497千円 ・消耗品費（コピー用紙、仕分け用段ボール） 92千円 ・通信運搬費（特定記録） 5,333千円 ・新聞折込手数料 61千円 ・クーポン券補助金 49,154千円 													
	【利用期間】 令和2年6月16日～令和2年9月30日 【配付枚数】 53,891枚（基準日：令和2年6月10日） 【登録事業所数】 229事業所 【利用枚数】 49,154枚（利用率：91.2%）													
		成果・課題		○クーポン券は、配付枚数の91.2%の49,154枚の利用があり、コロナ禍の影響下において5千万円以上の消費につながり、地域経済の活性化に資することができた。 ○参加店舗からは、「普段来てもらえない市民の方に来てもらえるきっかけになった」といった声を聞くなど、新たな購買行動をもたらす成果が確認できた。										

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 10,390千円	最終予算額 10,390千円	不用額 0千円	執行率	部 商工観光部														
	項	01 商工費				100.0 %															
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額															
	事	03 経営支援事業				0千円															
	細事	08 事業継続支援緊急資金貸付事業				0千円															
課			課 商工振興課																		
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源	諸収入 事業継続支援緊急資金貸付金元金収入 6,000千円																	
目的	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内事業者に対して、国等からの給付金等が支給されるまでの間、事業継続のために必要な資金を緊急的かつ速やかに貸し付ける。																				
主要な事務・事業の概要	○事業継続支援緊急資金貸付金 10,390千円																				
	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国等の助成金等を支給されるまでの間のつなぎ資金として、無利子、無担保、無保証にて、100万円を上限に、一時的に緊急資金として貸付を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>貸付対象制度</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雇用調整助成金</td> <td>2件</td> <td>1,390千円</td> </tr> <tr> <td>緊急雇用安定助成金</td> <td>1件</td> <td>1,000千円</td> </tr> <tr> <td>持続化給付金</td> <td>5件</td> <td>5,000千円</td> </tr> <tr> <td>京都府緊急事態措置協力金</td> <td>3件</td> <td>3,000千円</td> </tr> </tbody> </table>		貸付対象制度	件数	金額	雇用調整助成金	2件	1,390千円	緊急雇用安定助成金	1件	1,000千円	持続化給付金	5件	5,000千円	京都府緊急事態措置協力金	3件	3,000千円				
貸付対象制度	件数	金額																			
雇用調整助成金	2件	1,390千円																			
緊急雇用安定助成金	1件	1,000千円																			
持続化給付金	5件	5,000千円																			
京都府緊急事態措置協力金	3件	3,000千円																			
	成果・課題	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国の雇用調整助成金や持続化給付金等の申請をされてから給付までに一定の時間を要し、その間の資金繰りが大きな負担となっていたことから、緊急的かつ速やかに融資を行うことにより、経営の下支えをすることができた。</p>																			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 66千円	最終予算額 66千円	不用額 0千円	執行率	部 商工観光部
	項	01 商工費				100.0 %	
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額	
	事	03 経営支援事業				0千円	
	細事	09 地域経済循環促進事業					
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源				
目的	市内の商店会をはじめ、小売・サービスを提供する店舗等で使用可能な買物ポイント制度の導入に向けた取組及びデジタル通貨（地域通貨）の調査・検討を支援する。						
主要な事務・事業の概要	○商店会等活性化支援事業補助金 66 千円 デジタル通貨（地域通貨）やポイント共有制度を検討するため、研修会の開催を支援した。 <ul style="list-style-type: none"> ・主催 京丹后市商工会 ・内容 岐阜県飛騨地域における地域通貨「さるぼぼコイン」の取組や自治体ポイント等に関する研修 ・参加 13人（商店会会員、商工会職員等） 						
	成果・課題	○当初の計画では、地域デジタル通貨やポイント制度を検討するための先進地視察等を支援する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により計画が大幅に変更となり、オンライン研修会開催のみを支援した。 ○事業者の賛同と市民へ広く普及することができるデジタル通貨（地域通貨）、買い物ポイントの共通化、キャッシュレス決済及び自治体ポイントのシステムの仕組みについて、更に研究する必要がある。					

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部						
	項	01 商工費							55,610千円	56,050千円	440千円	99.2 %		
	目	02 商工振興費											(参考)当初予算額	
	事	03 経営支援事業												0千円
	細事	10 京丹後“みんなでささえ愛”クーポン券発行事業												
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	55,000千円	課	商工振興課							
目的	市民全員に1人当たり1,000円分(500円×2枚)のクーポン券を配付することにより、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然厳しい状況が続いている市内事業者への支援、また、市民の生活支援を行う。							主な財源						
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○「みんなでささえ愛クーポン券」発行事業 55,610千円 <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費(クーポン券、封筒、チラシ、ステッカー) 452千円 ・消耗品費(コピー用紙、印刷機インク等) 155千円 ・通信運搬費(特定記録) 5,325千円 ・手数料(新聞折込手数料、紙折り手数料) 94千円 ・クーポン券補助金 49,584千円 													
	【利用期間】 令和2年12月1日～令和3年2月28日 【配付枚数】 107,610枚(53,805人)※基準日：令和2年11月1日 【登録事業所数】 446事業所 【利用枚数】 99,168枚(利用率：92.16%) ※1,000円以上の支払い時に1枚(500円)利用可							成果・課題	○新型コロナウイルス感染症の影響により、売り上げが減少している市内の商店等で使用できるクーポン券を配付することで、市民の購買意欲の向上、生活の支援及び地域経済の活性化に資することができた。 ○参加店舗からは、消費が低迷している中で市内商店等での購買意欲の向上につながり、もう一度やってほしいとの要望の声を多くいただいた。 ○発送業務を軽減し、かつ即時に付与できるデジタル通貨(地域通貨)などについても検討していく必要がある。					

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 31,084千円	最終予算額 31,161千円	不用額 77千円	執行率	部 商工観光部
	項	01 商工費				99.7 %	
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額	
	事	04 企業立地推進事業				51,043千円	
	細事	01 企業立地推進事業					
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源	府補 きょうと地域連携交付金（企業立地支援事業） 14,700千円			
目的	市の事業用地及び企業立地支援制度を広く周知し、市内外企業等の立地を促進するとともに、基準を満たした事業所の新增設を支援することで、雇用の創出・拡大及び地域産業への経済波及効果の創出を図る。						
主要な 事務・ 事業の 概要	○企業立地促進事業 企業検索システム使用料		40千円				
	○京都府市町村企業誘致推進連絡会議分担金 京都府用地バンクの運営・改修、会社四季報業界地図の購入等		80千円				
○企業立地支援事業（市民の新規正規雇用者数23人）		30,964千円	事業所の新增設を行い、かつ正規雇用者を2人以上増加させた「指定事業所」（中小企業）に対して、企業立地助成金（新規地元常用雇用者1人につき上限100万円）及び企業立地奨励金（固定資産税納付相当額）、企業立地奨励品（営業用自動車1台の購入にかかる経費）を交付した。				
※指定事業所数（R2交付対象） 16事業所							
		企業立地助成金	4件	21,000千円			
		企業立地奨励金	9件	6,045千円			
		企業立地奨励品	2件	3,919千円			
		成果・課題	○指定事業所に企業立地助成金・奨励金を交付することにより、市内における事業所の新設及び増設を促進するとともに、雇用の拡大と経営の安定を図った。 ○引き続き、企業立地助成金や奨励金をはじめとする有利な制度のPRを行い、市内への企業立地活動を推進していく必要がある。				

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 2,327千円	最終予算額 2,484千円	不用額 157千円	執行率 93.6 % (参考)当初予算額 2,484千円	部 商工観光部		
	項	01 商工費							
	目	02 商工振興費							
	事	04 企業立地推進事業							
	細事	02 工業団地維持管理事業							
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源						
目的	市内工業団地の維持管理を行い、団地の環境美化に努めるとともに、魅力的な立地環境を維持する。								
主要な事務・事業の概要	○維持管理経費		2,327千円						
	市内5工業団地の法面の草刈り及び溝の清掃等								
	【維持管理経費の内訳】								
	団地名	面積 (㎡)	光熱水費等	委託料	土地借上料	修繕料	計		
	①赤坂工業団地（峰山）	63,121	31	594	-	502	1,127		
	②清水工業団地（大宮）	28,151	-	-	-	-	0		
	③大山工業団地（丹後）	32,962	-	42	3	-	45		
④谷工業団地（久美浜）	61,703	-	-	-	1,155	1,155			
⑤永留工業団地（久美浜）	41,489	-	-	-	-	0			
合計	227,426	31	636	3	1,657	2,327			
① 赤坂工業団地の「光熱水費等」は入口看板照明電気料、「委託料」は環境美化業務委託料、「修繕料」は看板灯LED器具の取替と看板の修繕								成果・課題	○市内5か所の工業団地の適切な維持管理及び環境美化に努めた。 ○いずれも合併前に建設された工業団地であり、繁茂した雑木や側溝・排水路の堆積物等を順次処理していく必要がある。
③ 大山工業団地の「委託料」は環境美化業務委託料、「土地借上料」は下水道管敷設用地									
④ 谷工業団地の「修繕料」は排水路維持修繕（側溝に堆積した土砂の撤去）									

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 778千円	最終予算額 802千円	不用額 24千円	執行率 97.0 % (参考)当初予算額 1,871千円	部 商工観光部
	項	01 商工費					
	目	02 商工振興費					
	事	04 企業立地推進事業					
	細事	03 テレワーク推進事業					
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源	府補 きょうと地域連携交付金（テレワーク推進事業） 324千円			
目的	テレワークを実践しようとする都市部の企業等が、市内にサテライトオフィスを設置する場合の経費を支援するとともに、コワーキングスペースを運営し、地元企業と都市部企業との異業種交流等を通じた新事業やイノベーションの展開を促進する。						
主要な事務・事業の概要	○コワーキングスペースの運営 274千円 ・貸館借上料（アミティ丹後） 100千円 ・運営管理委託料 44千円 ・電気料負担金 54千円 ・インターネット回線使用料負担金 76千円 ※コワーキングスペース設置<令和2年4月1日～令和2年5月31日まで>						
	○オンライン相談センターの設置 新型コロナウイルス感染症対策のため、急遽、事業者からのオンライン相談や各種支援事業の制度説明、オンライン申請の支援窓口を設置する必要があり、設備の整っているコワーキングスペースを臨時的に「オンライン相談センター」とした。（令和2年6月1日～） ・貸館借上料（アミティ丹後） 504千円		成果・課題	サテライトオフィス設置等支援補助金の実績はなかったが、テレワークを推進していく上で必要な支援であり、コロナ禍によりテレワークの関心が高まっていることから、都市部からの企業・人材の誘致を強化する必要がある。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部						
	項	01 商工費							1,109千円	1,170千円	61千円	94.7%		
	目	02 商工振興費											(参考)当初予算額	
	事	04 企業立地推進事業												0千円
	細事	04 自然あふれるビジネスセンター（仮称）推進事業												
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]													
目的	テレワーク環境の充実を図り都市部の企業や人材を誘致するため、戦略の策定を行う。また、iU情報経営イノベーション専門職大学との包括連携協定を契機とし、先端技術を活用した新たなビジネスモデルの創出を目指した市内産業の振興と人材の育成を図る。	主な財源	国補	地方創生推進交付金（1/2）	554千円									
			府補	きょうと地域連携交付金（テレワーク推進事業）	76千円									
主要な 事務・ 事業の 概要	○京丹後DXセミナー等の開催		666千円	○テレワーク推進戦略策定検討会の開催			443千円							
	<p>地方創生推進交付金の採択を受けた『テレワーク・ワーケーション推進による未来都市創造プロジェクト』を推進するため、包括協定を締結したiU専門職大学の教授や先進企業の経営者等を講師に招き、近未来の技術を見越したデジタル社会の啓蒙・啓発を図るとともに、先端技術を活用した事業活動を展開するための人材を育成する講座を開催した。</p>		<p>都市部企業のサテライトオフィスの誘致や自然に囲まれた豊かな生活と仕事を両立させることができる環境を生かしたテレワーク・ワーケーション戦略を策定するための検討会を開催した。また、戦略立案において参考とした逆参勤交代モデルをテーマとしたオンラインセミナーを開催し、都市部人材等に対し市のPRを行った。</p>											
	◆京丹後DXセミナー、DX推進検討チーム謝金		367千円	◆テレワーク推進戦略策定検討会（全5回実施）										
	<ul style="list-style-type: none"> 京丹後DXセミナー 自営通信網、観光、地域通貨、幸福度指標についてリモートでの講座を開催。 （2日間、4講座、延べ66人参加） 京丹後DX推進検討チーム 総括、自営通信網、観光、地域通貨などテーマごとにチームを編成して、次年度以降の動きについて協議を行った。 （6回開催、メンバー延べ47人） 		<ul style="list-style-type: none"> アドバイザー謝金（1人） 200千円 戦略検討会委員謝金（5人） 116千円 アドバイザー・戦略検討会委員費用弁償 7千円 											
	◆産学官連携デジタル化促進事業謝金【政策企画課】	299千円	◆逆参勤交代オンラインセミナー（令和3年3月24日開催・参加者58人）											
	iU情報経営イノベーション専門職大学教員が講師を務め、市内企業がDXについて学び、自社の現状把握を図る講座を映像配信により実施。 （2社参加）		<ul style="list-style-type: none"> 講師謝金（2人） 120千円 											
			成果・課題	<p>○豊かな自然環境を最大限に活かした「自然あふれるビジネスセンター構想」についてまとめ、テレワーク・ワーケーション戦略として策定することができた。</p> <p>○テレワーク・ワーケーション戦略の実践により企業・人材の誘致、交流人口・関係人口の拡大、将来的な定住人口の増加等の成果を生み出す持続可能な仕組みづくりに取り組む必要がある。</p> <p>○DX推進検討チームで協議・検討した内容の具現化の可能性を探る実証等を行う必要がある。</p>										

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部								
	項	01 商工費							3,428千円	3,504千円	76千円	97.8 %				
	目	02 商工振興費											(参考)当初予算額			
	事	05 繊維産業振興事業												5,792千円	課	商工振興課
	細事	01 産地振興事業														
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源													
目的	丹後ちりめん創業300年事業実行委員会において各種事業を実施し、地域の産業文化と魅力を広く発信するなど、丹後地域のブランド力向上及び将来に向けた人材育成を図る。また、全国の自治体と連携し、和装産業等の振興と魅力ある地域づくりを推進する。															
主要な 事務・ 事業の 概要	○丹後ちりめん創業300年事業実行委員会負担金 3,118千円 【総事業費 22,855千円】 負担金：丹後織物工業組合 5,000千円、京都府 5,000千円 京丹後市 3,118千円、与謝野町 1,757千円 宮津市 109千円、伊根町 16千円 【主な事業】 ・300周年記念事業SILK WEEKS IN TANGOの開催（来場者997人） ・TANGO OPEN CENTER準備事業 新商品開発（白生地ドレス）、首都圏での展示販売イベント3件、 テキスタイル展示商談会出展（商談91件） ・学生コラボ事業 国内学生：ファッションショー展示（大阪市）・展示（東京） 海外学生：作品展覧会開催（東京・京都・丹後） ・地域内機運醸成に資する300年PR事業（補助金交付：1団体）			○シルクサミットin丹後開催経費 32千円 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）等との共催により、シルクサミット2020in丹後実行委員会として開催。全国から140人が参加。 ・丹後きものクイーン出演謝金 32千円 ○職員旅費 18千円 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業 ・京丹後ちりめん祭 ・シルクのまちづくり市町村協議会の活動												
	○森田翁頭彰会負担金（森田翁慰霊祭（11月2日）の開催） 50千円			成果・課題	○丹後ちりめん創業300年記念事業として「SILK WEEKS IN TANGO」などを開催し、国内外への魅力発信・販路開拓に取り組んだ。 ○京丹後市きもの交流会を通じて丹後ちりめんのPR及び和装産業の振興に寄与した。 ○より実践的な産地振興策として、丹後織物工業組合が中心となり取り組むTANGO OPEN CENTER事業において、製造業や観光業を含む産地のかせぐ力の拡大及び人材育成を推進していく必要がある。											
	○京丹後市きもの交流会補助金（総事業費：311千円） 200千円 【主な事業】着付けビデオを活用した情報発信及び人材育成															
	○全国和装産地市町村協議会負担金（会員数：15団体） 10千円 【主な事業】・日本のそめおり展への出品（11月：京都市） ・シルクのまちづくり市区町村協議会との連名による国への要望 ※総会等は新型コロナウイルス感染症の影響により中止															

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部							
	項	01 商工費							15,232千円	15,580千円	348千円	97.7%			
	目	02 商工振興費													
	事	05 繊維産業振興事業											21,091千円	課	商工振興課
	細事	03 新シルク産業創造事業													
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源	国補	地方創生推進交付金（1/2）	6,503千円									
目的	地域再生計画に基づく新シルク産業創造に向けた取組を行うことにより、地域産業の基盤強化や成長を促し、雇用の創出・拡大を図る。			府補	きょうと地域連携交付金（新シルク産業創造事業）	600千円									
主要な事務・事業の概要	<p>京丹後市新シルク産業創造館（旧溝谷小学校）において、令和元年度に引き続き、無菌周年養蚕及び高機能性シルクに関する基礎研究を、京都工芸繊維大学に委託して実施した。</p> <p>○基礎研究の推進費 11,814千円 新シルク産業創造事業運営業務委託料 （人件費、人工飼料等資材費、新シルク産業創造館光熱水費等）</p> <p>○新シルク産業創造館の施設管理費 1,525千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンルーム加湿器定期メンテナンス 858千円 ・電気設備保守点検業務 359千円 ・施設機械警備業務 79千円 ・消防設備保守点検業務 50千円 ・施設管理用消耗品類 73千円 ・火災保険料 30千円 ・電話代 75千円 ・水道の名義変更に伴う手数料 1千円 			<p>○民間事業者の参画に向けた準備業務 1,190千円 新シルク産業創造事業参画事業者調査業務委託 国内シルク関連事業者に対し、新シルク産業創造事業への参画について、意向調査を実施。 対象：1,000社、回答率：11.8%（118社）、参画意向事業者数：11社</p> <p>○新シルク産業の推進のための補助金 303千円 新シルク産業産学連携研究等促進補助金（1件）</p> <p>○その他経費 400千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出張旅費 145千円 ・高速道路使用料 10千円 ・公用車関連経費（車検費用、燃料費等） 245千円 											
	成果・課題	<p>○新シルク産業創造館で確立させた無菌周年養蚕の手法を用い、遺伝子組換え蚕の飼育規模を拡大させた。</p> <p>○全国のシルク関連事業者1,000社を対象に、本業務への参画意向調査を実施し、令和3年度以降の事業者の参画に向けた基礎資料を作成した。</p> <p>○令和3年度において、上記の意向調査の結果を踏まえつつ、新シルク産業創造館において事業を推進する民間事業者を公募・選定する。</p>													

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 2,453千円	最終予算額 2,463千円	不用額 10千円	執行率	部 商工観光部	
	項	01 商工費				99.5 %		
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額		
	事	06 機械金属業振興事業				5,499千円		課 商工振興課
	細事	01 機械金属業振興事業						
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源					
目的	機械金属関連事業者の販路開拓、新分野のビジネス展開など、丹後機械工業協同組合の活動を支援し、基盤産業である機械金属業界全体の成長・発展を図る。							
主要な事務・事業の概要	○機械金属業販路開拓等事業費補助金 実施主体：丹後機械工業協同組合 補助率：3分の2以内 実施内容： ・新分野・ビジネス開拓推進事業 京都ビジネス交流フェア（京都・2月）に出展 ・TANGO HIGH TEC LANDガイドブック改訂 フルカラー44ページ 3,000冊（71社掲載） ・広域広報事業 夏季号・新春号の発行 各35,500部 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、展示商談会への出展、セミナー・交流会等を中止		2,453千円					
	成果・課題	○新型コロナウイルス感染症の影響により都市部の展示商談会に出展ができない中、内需販路拡大等事業として組合に加盟する企業を紹介する広報誌の発行を支援することで、丹後の機械金属産業を広く周知し、認知度を高めることができた。 ○ガイドブックの改訂を支援することで、各企業の設備環境や企業規模等掲載内容を更新することができた。 ○業界の成長・発展を図るため、引き続き新規顧客の獲得や成長産業分野への進出を支援していく必要がある。						

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 6,726千円	最終予算額 6,900千円	不用額 174千円	執行率	部 商工観光部	
	項	01 商工費				97.4 %		
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額		
	事	09 人材育成事業				6,900千円		課 商工振興課
	細事	01 人材育成事業						
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源					
目的	「丹後・知恵のものづくりパーク」(北部活性化拠点・京丹後)の研修事業の実施及び施設の管理運営等に必要な経費の一部を負担することにより、事業の円滑な実施と適切な施設運営を促す。							
主要な事務・事業の概要	<p>公益財団法人京都産業21が府内の福知山市、綾部市以北を対象に「丹後・知恵のものづくりパーク」を拠点として北部支援センターを設置し、「北部産業活性化活動拠点・京丹後」管理運営事業及び人材育成研修事業を実施するための負担金を交付することで、市内産業の活性化と「ものづくり産業」の人材育成を図った。</p> <p>○「丹後・知恵のものづくりパーク」管理運営・人材育成研修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理運営事業負担金 6,226千円 ・人材育成研修事業負担金 500千円 <p>女性リーダー育成セミナー (4回開催 延べ受講者数：20人)</p> <p>営業力強化セミナー (4回開催 延べ受講者数：41人)</p> <p>※両セミナーともオンラインでの開催</p>							
	成果・課題	<p>○「丹後・知恵のものづくりパーク」の適切な管理運営や、府内北部の中小企業等への経営・技術等の総合支援、さらには、ものづくり人材育成研修など、各種ものづくり産業の振興に資する事業等の費用を負担することで、適切な施設運営に寄与した。</p> <p>○市内産業の活性化を図るため、「丹後・知恵のものづくりパーク」の維持及び各種人材育成研修を実施する必要がある。</p>						

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 636千円	最終予算額 638千円	不用額 2千円	執行率 99.6 % (参考)当初予算額 0千円	部 課	商工観光部 商工振興課
	項	01 商工費						
	目	02 商工振興費						
	事	10 商工業総合振興事業						
	細事	04 民民連携すいしん本部（仮称）事業						
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源					
目的	市外の先進企業や大学等と市内の企業や団体・市民の連携を促進し、市の施策に基づく産業振興、福祉、教育、防災など様々なプロジェクトを円滑に実行する拠点として「民民れんけい推進本部」を設置する。							
主要な事務・事業の概要	○民民れんけい推進本部アドバイザー謝金 407千円 DX（デジタルトランスフォーメーション）やテレワーク、新型コロナウイルス感染症対策などに関するアドバイスや講演に対する謝金。（4人延べ5回）		【参考】令和2年度アドバイザー委嘱 ・総合戦略アドバイザー 山田 啓二氏 ・ICT戦略アドバイザー 山崎 俊巳氏 ・ふるさと創生・働き方戦略アドバイザー 松田 智生氏 ・医療・健康戦略アドバイザー 二川 一男氏 ・産業連携戦略アドバイザー 関 総一郎氏 ・産業連携戦略アドバイザー 宮城 勉氏 ・まちづくり総合戦略アドバイザー 東国原 英夫氏 ・コロナ対策・スポーツ交流戦略アドバイザー 梨田 昌孝氏 ・文化芸術戦略アドバイザー 榎木 孝明氏 ・いのち・生活支援戦略アドバイザー 玄 秀盛氏					
	・職員向け地方創生に係る研修会開催 ・業界団体職員との意見交換会の開催 ・市民向け新型コロナウイルス感染症対策講演会の開催 ・DXセミナーの開催 ・テレワーク推進戦略策定におけるアドバイス							
○経済懇話会開催経費 133千円 開催日：令和2年12月21日 場所：プラザホテル吉翠苑 内容：・講演「わが国の経済の現状と課題」（講師：長谷川 栄一氏） ・市内経済経営者との懇話会（講師と国内中小企業経営者5名）								
参加者数：29人 ・講師謝金、費用弁償 76千円 ・会場借上料 57千円								
○職員旅費 96千円		成果・課題 ○市長を本部長とした民民れんけい推進本部を令和2年8月に設置し、経済・産業など様々な分野の専門家をアドバイザーとして委嘱し、DXやテレワーク推進戦略の策定など、市の施策に対してアドバイスを受けた。 ○本市の各分野での民間集積を高めるため、引き続き、民民れんけい推進本部のアドバイザーによる政策提言や産・官・学連携の強化を促進し、各種産業振興、福祉、教育、防災など、様々な分野における自律的發展を図る必要がある。						

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 954千円	最終予算額 954千円	不用額 0千円	執行率	部 商工観光部	
	項	01 商工費				100.0 %		
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額		
	事	10 商工業総合振興事業				0千円		課 商工振興課
	細事	05 大阪・関西万博連携事業						
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源					
目的	地球規模の様々な課題解決に向けた新たな技術や商品が結集する2025年大阪・関西万博の動きと本市産業等が連携した取組を進められるよう関西経済団体・企業との連携を強化する活動を行う。							
主要な事務・事業の概要	○松本重太郎展覧会企画作成委託料 935千円 大阪商工会議所と連携して、令和3年6月から8月に大阪企業家ミュージアムで開催する松本重太郎展覧会の企画案を作成した。展覧会終了後は、展示品を丹後町内に移設する予定。 【参考】 松本重太郎展覧会 日時：令和3年6月8日～8月31日 会場：大阪企業家ミュージアム（大阪市中央区） 主催：京丹後市、大阪商工会議所大阪企業家ミュージアム 協力：アサヒグループホールディングス 関連事業：オンライン講演会（予定）							
	○職員旅費 19千円		成果・課題	○展覧会の企画内容、解説原稿を作成し、令和3年度開催の展覧会に向けての準備を進めることができた。 ○大阪・関西万博が目指すSDGsが達成される社会に向けて、特に大阪と関係の深い松本重太郎翁に関連する事業を通じて、市内産業の持続・活性化のため、大阪を中心とした関西の経済団体や企業との連携を促進していく必要がある。				

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 362千円	最終予算額 428千円	不用額 66千円	執行率	部 商工観光部	
	項	01 商工費				84.5 %		
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額		
	事	50 商工振興一般経費				428千円		課 商工振興課
	細事	01 商工振興一般経費						
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源					
目的	地域経済・産業の振興、活性化を図るための活動等に必要な経費							
主要な事務・事業の概要	○出張旅費（職員旅費、有料道路通行料、駐車場使用料等）		307千円					
	○事務費等（新聞購読料、表彰用賞状作成費）		55千円					
				成果・課題	商工振興に関する事務事業等を円滑に行うことができた。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部								
	項	01 商工費							2,509千円	2,612千円	103千円	96.0 %				
	目	03 商工施設費											(参考)当初予算額			
	事	01 峰山織物センター-管理運営事業												3,607千円	課	商工振興課
	細事	01 峰山織物センター-管理運営事業														
使用料	公有財産使用料	122千円														
使用料	峰山織物センター-使用料	67千円														
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源													
目的	峰山織物センターを管理運営することで、織物業の振興及び住民の福祉の増進を図る。															
主要な事務・事業の概要	○延べ利用人数 5,270人（延べ利用件数：457件）															
	【利用目的別利用件数】 (単位：件)															
	会議	研修	教室	サークル活動	スポーツ・レクリエーション	合計										
	73	10	143	231	0	457										
【部屋別利用件数】 (単位：件)																
大会議室	小会議室	教養室	第1・2研修室	合計												
192	64	30	171	457												
			○管理運営経費 2,509千円													
			<ul style="list-style-type: none"> 日直代行業務委託料 821千円 燃料、光熱水費（ガス代、電気代、上下水道使用料） 1,075千円 消耗品費、修繕料等 145千円 駐車場借上料 306千円 機械警備委託料、消防設備点検委託料等 87千円 通信運搬費（電話使用料） 48千円 その他維持管理経費（火災保険料、テレビ受信料等） 27千円 													
			成果・課題 ○職業訓練、教室・サークル活動を行う施設として多くの利用があり、活動拠点として各種活動の推進に寄与した。 ○施設の老朽化が進んでおり、今後も施設・設備ともに修繕費や更新費用が増加することが見込まれる。													

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部								
	項	01 商工費							5,316千円	5,328千円	12千円	99.7%				
	目	03 商工施設費											(参考)当初予算額			
	事	02 商工施設指定管理運営事業												5,025千円	課	商工振興課
	細事	01 指定管理施設運営事業														
		諸収入	大宮織物ホール電気料	219千円												
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源													
目的	市内の商工関連公共用施設の適正な管理運営を行い、施設利用者の利便性の向上及び商工業の振興を図る。															
主要な事務・事業の概要	<p>大宮織物ホール及び弥栄機業センターの各施設について、京丹後市商工会を指定管理者として管理運営を行った。</p> <p>■大宮織物ホール（大宮町周枳） 5,295千円</p> <p>令和2年度利用者数：1,472人</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 3,076千円 修繕料（キュービクル改修） 941千円 火災保険料 9千円 土地借上料（建物および駐車場用地） 1,269千円 <p>■弥栄機業センター（弥栄町和田野） 21千円</p> <p>令和2年度利用者数：940人</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 17千円 火災保険料 4千円 															
	成果・課題	<p>○市内商工関連公共用施設の管理運営を指定管理者として京丹後市商工会が行うことで、施設利用者の各種活動の推進に寄与した。</p> <p>○各施設の老朽化が顕著となっており、今後も引き続き施設を利用するためには、修繕費が増加が見込まれる。</p>														

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部						
	項	01 商工費							1,091千円	1,185千円	94千円	(参考)当初予算額	課	商工振興課
	目	03 商工施設費												
	事	50 商工施設一般経費												
	細事	01 商工施設一般経費												
総合計画 基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興 [01 地域経済を担う商工業の振興]		主な財源	諸収入	旧丹後商業活性化センター火災保険料負担金	42千円								
		諸収入		弥栄機業センター光熱水費負担金	6千円									
				諸収入	旧三津小学校火災保険料企業負担金	28千円								
目的	商工業の振興に資する商工関連施設の維持管理を行う。													
主要な事務・事業の概要	○商工施設維持管理経費 ◆光熱水費 7千円 ・御旅市場商店街駐車場外灯電気代(旧小谷医院跡地) 6千円 ・あしぎぬ苑 水道料 1千円 ◆修繕料 207千円 ・京都工芸繊維大学京丹後キャンパスエアコン修繕料 149千円 ・京都工芸繊維大学京丹後キャンパスフェンス修繕料 33千円 ・大宮織物ホール玄関ドア等修繕料 25千円 ◆委託料 794千円 ・丹後商業活性化センター裏公衆トイレ管理委託料 462千円 ・旧三津小学校グラウンド管理業務(草刈り、整地等) 280千円 ・あしぎぬ苑清掃作業委託業務料 52千円 ◆保険料 75千円 ・旧三津小学校公有建物災害共済保険料 29千円 ・旧丹後商業活性化センター公有建物災害共済保険料 46千円			◆その他 8千円 ・弥栄機業センター(指定管理部分除く)電気代等負担金 6千円 ・あしぎぬ苑水道閉開栓手数料 2千円										
	成果・課題	○商工業、織物業の振興を目的とした商工関連施設を適切に管理することができた。 ○老朽化した京都工芸繊維大学京丹後キャンパスの設備を改修し、同キャンパスの機能を維持することができた。 ○京都工芸繊維大学京丹後キャンパスの老朽化が進んでおり、修繕費が増加することが見込まれる。												

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部						
	項	01 商工費							1,668千円	2,469千円	801千円	67.5 %		
	目	04 観光振興費											(参考)当初予算額	
	事	01 “旬”でもてなす食の観光推進事業												3,614千円
	細事	01 “旬”でもてなす食の観光推進事業												
総合計画 基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進 [04 滞在型観光・スポーツ観光の促進]		主な財源	繰入金 韓哲・まちづくり夢基金繰入金 909千円										
目的	本市の強みである“食の魅力”に磨きをかけ、質の高い「食文化」と「もてなし」を観光客等に提供することで、豊富で多彩な「旬の食を活かした滞在型観光（フードツーリズム）」を推進し、地域の雇用と経済の活性化を図る。													
主要な事務・事業の概要	<p>○京丹後フードトレイル創造事業 909千円 フルーツを活かした新たな観光スポットを創造するため、網野から久美浜の国道178号沿いの果樹直売所等（7店舗（新たに2店舗）において、旬のフルーツをドリンク、スイーツ、デザート等で提供する「フルーツトレイル」を実施した。 実施グループ：地元の生産者、加工事業者等 実施期間：令和2年7月1日～9月30日 ドリンク等販売実績：6,788杯（約3,428千円）前年度比：216%</p> <p>・京丹後フルーツトレイル事業補助金 909千円</p>			<p>○京丹後ガストロノミカ開催事業 475千円 第1部：農×食 ONLINE LIVE （料理人・生産者中心に会場約29人、オンライン約17人） 第2部：講義、トークセッション（料理人・生産者を中心に約40人） 開催日時・場所：令和2年10月26日・アミティ丹後</p> <p>・講師等謝金 190千円 ・チラシ作成、動画配信、会場借上等 285千円</p>										
	<p>○たんちよすバル開催等支援事業 56千円 「たんちよす」「TANTXOS」の商標権の登録が完了した。 ※たんちよすバルは新型コロナウイルス感染症の影響により中止。</p> <p>・たんちよすバル開催等補助金 56千円 「たんちよす」「TANTXOS」商標権設定登録（10年間）経費</p> <p>○Rico Labo開催支援経費 40千円 料理人、生産者、加工業者などが集い、食材、技術を学んだり事業者間の交流を促進する場として、「Rico Labo」の開催を支援した。</p> <p>・会場借上料 10月25日（栗、ピーツ等）、2月3日（魚） 40千円</p>			<p>○「旬の京丹後」啓発・普及事業（旬の京丹後啓発看板設置） 188千円 ・看板製作費 175千円 ・土地借上料 13千円</p>										
			成果・課題		<p>○ガストロノミカは、コロナ禍を踏まえ、会場とオンラインで開催し、約70名の参加があった。また、生産現場からのオンライン中継により、料理人等が食材への理解を深める機会となった。 ○フルーツトレイルの実施により、新たに参加した2事業者の期間中の売上が前年より約20%伸び、本事業によるPR効果が見られた。 ○Rico Labo事業は、コロナ禍のため、2回のみで開催となったが（当初は4回を予定）、秋の食材と魚の処理方法等について、参加者の理解と創作意欲が深まった。</p>									

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部						
	項	01 商工費							7,699千円	8,481千円	782千円	(参考)当初予算額	課	観光振興課
	目	04 観光振興費												
	事	02 ジオパーク・体験滞在型観光推進事業												
	細事	01 1初回世界ジオパーク推進事業												
総合計画 基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進 [04 滞在型観光・スポーツ観光の促進]		主な財源	府補 繰入金	ジオパーク推進事業補助金(1/2) 地域振興基金繰入金	1,000千円 5,000千円								
目的	山陰海岸ユネスコ世界ジオパークの貴重な地質遺産を保護保全するとともに、教育や産業振興への活用を図る。また、専門的な知識を有するガイドを養成し、山陰海岸ジオパークの様々な魅力を発信する。													
主要な 事務・ 事業の 概要	○ジオパーク市情報センター（拠点施設）、ジオサイトの整備及び管理運営		4,694千円											
	・拠点施設運営管理（道の駅てんきてんき丹後内） （業務委託料、清掃用具借上料、電気代相当負担金）		3,244千円											
	・ジオサイト保全管理（草刈り業務委託料）		1,450千円											
	○山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク普及啓発等		414千円											
・スタンプラリー景品		33千円		成果・ 課題	○ジオサイトの清掃、草刈りを実施することで、来訪者に良好な環境を提供することができた。 ○山陰海岸ジオパークの活用を推進するため、新たに「ジオパーク最大活用会議」を設立することができた。（準備会4回、全体会議1回） ○ジオパークを「保全」から「活用」に転じさせ、より経済活動につなげていく取組が必要である。									
・パンフレット印刷費用、PR缶バッチ資材等		316千円												
・関連会議、費用弁償等 （府縣市町連携会議、ジオ活会議）		65千円												
○ガイド養成講座開催（講師謝金2人分）		32千円												
・3月16日、3月17日の2日間開催・参加者14人														
○山陰海岸ジオパーク推進協議会負担金		2,559千円												

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部						
	項	01 商工費							838千円	859千円	21千円	(参考)当初予算額	課	観光振興課
	目	04 観光振興費												
	事	02 ズカーク・体験滞在型観光推進事業												
	細事	02 滞在型観光地づくり推進事業												
総合計画 基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進 [04 滞在型観光・スポーツ観光の促進]		主な財源	寄附金	ふるさと応援寄附金	495千円								
目的	地域経済への波及、交流人口の拡大等に寄与する各種大会等（各種会議、スポーツ大会、イベント等）を主催する団体に対して補助金を交付することにより、宿泊客等を誘致し、滞在型観光地づくりを推進する。													
主要な 事務・ 事業の 概要	○観光業等活性化推進事業補助金		240千円	成果・課題	新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込む宿泊施設の稼働率を、大会等開催を支援することで、少しでも向上させることができました。									
	・交付件数：3件（80千円×3件）													
	○丹後ラリー開催奨励金		495千円											
	ふるさと納税により、映像作成・ダイジェストネット放送を支援													
	寄附受付期間：令和2年7月4日～7月30日													
	合計寄附件数：31件、合計寄附金額：523千円													
※寄附金額と活用額との差額28千円については、ふるさと応援基金に														
積み立て、翌年度以降の地域の魅力発信に係る事業に活用。														
※NISSINラリー開催日：令和2年7月31日～8月2日														
○全国道の駅連絡会会費		20千円												
○近畿道の駅連絡会会費		27千円												
○国民保養温泉地協議会負担金		45千円												
○職員旅費（道の駅連絡会幹事会・京都市）		11千円												

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部				
	項	01 商工費							2,272千円	2,378千円	106千円	95.5 %
	目	04 観光振興費										(参考)当初予算額
	事	02 シカター・体験滞在型観光推進事業										4,464千円
	細事	03 日本一の砂浜海岸づくり推進事業										
総合計画 基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進 [04 滞在型観光・スポーツ観光の促進]		主な財源	府補	きょうと地域連携交付金（日本一の砂浜海岸づくり推進事業）	700千円						
		府委		海岸漂着物対策事業委託金	284千円							
目的	山陰海岸ユネスコ世界ジオパークを構成する京丹後の美しい砂浜海岸を保全し、一年を通じてにぎわう日本一の砂浜海岸づくりを推進する。											
主要な 事務・ 事業の 概要	○砂浜海岸の保全事業		1,595千円									
	<ul style="list-style-type: none"> 海水浴場清掃美化業務委託（海水浴場閉鎖後9日間） 浅茂川海岸 海水浴場清掃美化業務委託（冬季） 琴引浜、浜詰海岸、竹野海岸、浅茂川海岸、後ヶ浜海岸、上野平海岸 		233千円 1,362千円									
	○砂浜海岸の活用事業		330千円									
	<ul style="list-style-type: none"> 遊歩道堆積砂撤去委託料（委託先：小天橋観光協会） 小天橋箱石海岸遊歩道に堆積する砂及び雑草等の除去 ビーチ斉クリーン作戦（浜詰～葛野海岸） 消耗品、医薬材料費（経口補水液） 		330千円 347千円 347千円									
	※新型コロナウイルス感染症の影響により10月24日に延期したが、悪天候のため中止。											
				成果・課題	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響により全国的に海水浴場が閉鎖される中、浅茂川海岸では閉鎖後も後を絶たない来場者により大量のごみが発生したが、開設者に回収業務を委託することで、周辺の美化保全を確保することができた。</p> <p>○砂浜海岸の保全のため、地元区等が実施する海岸清掃を支援したほか、小天橋遊歩道の維持管理を行った。</p> <p>○ビーチ斉クリーン作戦が2年連続して中止になっていることを踏まえ、現在の年1回の開催について、見直しを検討する必要がある。</p>							

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部						
	項	01 商工費							34,255千円	34,255千円	0千円	100.0%		
	目	04 観光振興費											(参考)当初予算額	
	事	03 イバウト・宿泊促進強化事業												30,000千円
	細事	02 観光インフラ整備等促進事業												
総合計画 基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進 [04 滞在型観光・スポーツ観光の促進]	主な財源	繰入金	観光インフラ整備等促進実行調整費基金繰入金	34,255千円									
目的	入湯税相当額を原資とした観光インフラ整備等促進実行調整費基金を活用し、市内の法人等が実施する観光の魅力づくりに寄与するインフラ整備事業に補助金を交付し、本市の自然や温泉等を活かした魅力ある観光地づくりを推進する。													
主要な事務・事業の概要	○観光インフラ整備等促進事業補助金					34,255千円	修景等景観保全整備事業	14	夕日ヶ浦観光協会/夕日の路街路灯整備工事	825	562			
						(単位：千円)		15	浜詰区/海岸街路灯改修工事	3,297	2,247			
	事業区分					No	事業名	事業費	補助金	その他事業	16	北畿ファーム(株)/観光花公園整備事業	24,701	10,000
	温泉源・配湯施設改修等事業	1	丹後温泉/温泉貯湯槽整備工事	7,028	750	計(16件)		78,034	34,255					
		2	夕日ヶ浦温泉/温泉管改修工事	16,416	5,000	成果・課題 ○温泉源の維持管理や宿泊温泉施設の機能向上等、民間事業者等が行う設備投資をタイムリーに支援することができた。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、人流が抑制され入湯税収入が落ち込むことが想定されるため、観光インフラ整備等促進実行調整費基金を適正に管理・運用しつつ、引き続き、民間の設備投資を支援していく必要がある。								
		3	八丁浜小浜温泉組合/送湯ポンプ等取替工事	1,474	1,206									
		4	久美浜カンツリー温泉/水中ポンプ取替工事	2,413	1,974									
		5	丹後神野温泉/送湯ポンプ等改修工事	702	574									
		6	桜尾温泉/水中ポンプ等取替工事	3,960	3,240									
		7	上野温泉/配湯設備取替工事	417	341									
		8	上野温泉/水中ポンプ等取替工事	593	485									
	砂浜清掃用機械購入等事業	9	上野区/砂浜清掃用機械購入	1,210	990									
		10	竹野区/砂浜清掃用機械購入	610	499									
11		小天橋観光協会/海岸清掃用機械格納庫修繕	198	162										
誘客サイン整備等事業	12	小天橋温泉協会/誘客看板取替工事	2,695	1,225										
温泉施設等整備事業	13	(株)福山/昭恋館よ志のや昭恋の湯改修工事	11,495	5,000										

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部						
	項	01 商工費							14,563千円	17,597千円	3,034千円	82.7 %		
	目	04 観光振興費											(参考)当初予算額	
	事	03 インバウンド・宿泊促進強化事業												17,597千円
	細事	02 観光インフラ整備等促進事業（繰越）												
総合計画 基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進 [04 滞在型観光・スポーツ観光の促進]	主な財源												
目的	入湯税相当額を原資とした観光インフラ整備等促進実行調整費基金を活用し、市内の法人等が実施する観光の魅力づくりに寄与するインフラ整備事業に補助金を交付し、本市の自然や温泉等を活かした魅力ある観光地づくりを推進する。													
主要な事務・事業の概要	○観光インフラ整備等促進事業補助金		14,563千円											
	(単位：千円)													
	事業区分		No	事業名	事業費	補助金								
	温泉施設等整備事業	1	浜詰区/「浜詰 夕日の丘」計画	51,292	4,563									
	その他事業	2	(株)ビッグ・シー/海花亭新館新築工事	146,080	10,000									
計（2件）			197,372	14,563										
※No.1については、令和元年度中に概算払いとして37,403千円交付済														
			成果・課題	民間事業者が行う設備投資に対し、支援することができた。										

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部						
	項	01 商工費							20,741千円	20,819千円	78千円	99.6 %		
	目	04 観光振興費											(参考)当初予算額	
	事	04 ショッピング観光推進事業												10,694千円
	細事	01 海水浴場連絡員配置等支援事業												
総合計画 基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進 [04 滞在型観光・スポーツ観光の促進]		主な財源	国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	8,000千円								
		府補		きょうと地域連携交付金（海水浴場連絡員配置等支援事業）	1,000千円									
			繰入金	ふるさと応援基金繰入金	3,000千円									
目的	「京都府遊泳者及びプレジャーボートの事故の防止等に関する条例」及び「海水浴場における新型コロナウイルス感染症の感染予防対策ガイドライン」を遵守して開設する海水浴場開設者に、開設経費を支援することで、海水浴を通じた夏季の誘客を促進する。													
主要な事務・事業の概要	①海水浴場開設者支援事業補助金		9,296千円											
	②新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策支援補助金		9,289千円		(単位：千円)									
	開設者	海水浴場名	事業費①	補助金①	事業費②	補助金②	開設者	海水浴場名	事業費①	補助金①	事業費②	補助金②		
	蒲井区	蒲井浜	451	335	467	361	砂方区	砂方	675	642	816	816		
	小天橋観光協会	小天橋・葛野	2,448	2,383	1,892	1,637	(株)てんきてんき村	立岩・後ヶ浜	1,272	1,224	449	449		
		箱石浜			539	539							竹野区	竹野
	浜詰区	浜詰夕日ヶ浦	1,205	1,162	758	682	平区	平	未開設		35	35		
	網野スポーツクラブ	八丁浜	609	590	800	800	上野区	高嶋	666	597	820	820		
	小浜観光協会	小浜	543	539	385	369	久僧区	久僧	未開設		547	547		
	掛津区	琴引浜掛津	621	597	817	817	中浜区	中浜	660	631	543	543		
遊区	琴引浜遊	未開設		64	58	合計			9,296		9,289			
	○需用費（コロナ対策消耗品購入、救命用具交換部品等）			1,983千円		成果・課題	○府条例に基づく連絡員の配置等水難事故抑止に資する体制を整えることで、安全・安心な海水浴場と地域経済への波及効果を確保することができた。 ○コロナ禍において、全国的に最も厳しい水準のガイドラインを策定し、それに沿った感染拡大防止対策費用の一部を支援することで、安全・安心な海水浴場を開設することができ、夏季観光を下支えすることができた。 ○非開設海岸の海岸パトロール員配置を支援し、浜辺周辺の秩序を保ち、衛生環境の確保及び周辺住民の感染防止に資することができた。							
	○役務費（火災保険料）			1千円										
	○委託料（水難啓発救助委託料）			80千円										
	○備品購入費（ハンドマイク購入・5台）			92千円										

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部								
	項	01 商工費							3,181千円	3,333千円	152千円	95.4 %				
	目	04 観光振興費											(参考)当初予算額			
	事	05 観光プロモーション推進事業												4,229千円	課	観光振興課
	細事	01 観光プロモーション推進事業														
		府補	きょうと地域連携交付金(観光振興事業)	300千円												
総合計画 基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進 [04 滞在型観光・スポーツ観光の促進]	主な財源														
目的	各種広報媒体の活用やイベントでのキャンペーン、広域観光団体との連携によるPR活動の展開等により、観光資源、観光情報を発信し、観光客誘致の促進を図る。															
主要な事務・事業の概要	○誘客イベント等情報発信及び広告掲載等経費	226千円	○スマートフォン用観光アプリケーションサーバー使用料	120千円												
	<ul style="list-style-type: none"> ・FM京都(α-STATION) 広告(イベント告知:2回) 220千円 海水浴場開設情報×1回、フルーツトレイル情報×1回 ・JAF観光登録システム使用料 6千円 		○「ミニポートピア京丹後5周年記念競走」副賞経費【政策企画課】 31千円													
主要な事務・事業の概要	○観光宣伝活動等事務経費	117千円	※新型コロナウイルス感染症の影響により物産展は中止													
	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費、有料道路通行料等 86千円 ・キャンペーン景品、観光宣伝物品等 31千円 		成果・課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどのイベントが中止となり、人流抑制の観点から積極的な誘客プロモーションを行うことができなかった。												
○広域観光団体負担金	2,687千円															
	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社)豊岡観光イノベーション(豊岡DMO) 300千円 ・(公社)京都府観光連盟 390千円 ・北近畿広域観光連盟 1,112千円 ・大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会負担金 745千円 ・(特非)ジャパン・フィルムコミッション 100千円 ・北近畿合同PR映像作成負担金 40千円 															

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部						
	項	01 商工費							136,900千円	170,422千円	33,522千円	80.3 %		
	目	04 観光振興費											(参考)当初予算額	
	事	06 地域総ぐるみ観光地づくり事業												72,195千円
	細事	01 海の京都DMO推進事業												
総合計画 基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進 [04 滞在型観光・スポーツ観光の促進]		主な財源	国補	地方創生推進交付金(1/2)	6,033千円								
目	「京都府北部地域連携都市圏振興社」に参画するとともに、同京丹後地域本部(京丹後市観光公社)の活動を支援することで、魅力的な観光地づくりを推進する。			国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	63,000千円								
主要な事務・事業の概要	○京都府北部地域連携都市圏振興社(海の京都DMO)運営負担金 15,524千円 府と北部7市町等で構成する海の京都DMOの運営に関する経費を負担し、新型コロナウイルス感染拡大により大打撃を受けた観光産業への支援対策(ガイドライン、ピクトグラム作成周知)や、安全対策に努めながらGoToトラベルを活用したツアーを造成。また、インバウンドはオンライン商談会により台湾、タイ等の153社と商談するとともに、来訪した観光客の情報を蓄積し、顧客情報の分析等マーケティングに取り組んだ。			○地域おこし企業人交流プログラム受入事業負担金 11,670千円 総務省「地域おこし企業人交流プログラム」事業を活用し、観光に関する専門的なノウハウや知見を有する大手旅行会社の社員を受け入れた。 ・受入人数・期間 平成31年4月1日～令和4年3月31日(予定)(1人・(株)JTB) 令和3年2月1日～令和6年1月31日(予定)(1人・(株)ANA総合研究所) ・配置部署:商工観光部観光振興課[勤務場所:京丹後市観光公社] ・活動内容:ヘルスツーリズム、安全安心ブランドツーリズム等造成等										
	○京都府北部地域連携都市圏振興社京丹後地域本部(京丹後市観光公社)補助金 105,571千円			○国際交流員(CIR)任用経費(1人) 4,135千円 京丹後市観光公社へ派遣(予定:R元年8月から5年間を予定。)										
	事業費	観光コンテンツ企画販売事業		9,299千円		参考	繰越明許費を除いた最終予算額		136,962千円					
		Web・マーケティング事業		10,583千円			実質的な予算執行率		100.0%					
		インナープロモーション事業、受託事業		4,812千円										
		海の京都エリア活性化事業(6支部活動補助金)		4,453千円										
		ふるさと旅行券(秋旅、冬旅)マイクロ広告		64,405千円										
	管理費	本部・支部の事務経費及び支部職員の人件費等		12,019千円										
	■令和3年度への繰越事業			成果・課題										
	・安全で安心な観光とふるさと創生事業費補助金 令和3年12月完了予定 12,400千円			○ウイズコロナの取組として「京丹後ふるさと旅行券」等の誘客キャンペーンの実施、マイクロツーリズムのプロモーション、人材確保等の支援を行い、市内における観光産業の低迷防止を図った。										
・京都府北部地域連携都市圏振興社京丹後地域本部補助金 令和3年12月完了予定 21,060千円			○「地域おこし企業人交流プログラム事業」の活用により、民間企業の専門人材を観光公社に派遣し、ヘルスツーリズム認証の取得、安全安心ブランドツーリズム等の造成等を実施することができた。											
			○市域全体での観光プロモーションが進むよう、観光公社会員の増加をはじめ、異業種間連携等をさらに推進する必要がある。											

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 179千円	最終予算額 217千円	不用額 38千円	執行率	部 商工観光部
	項	01 商工費				82.4 %	
	目	04 観光振興費				(参考)当初予算額	
	事	06 地域総ぐるみ観光地づくり事業				217千円	
	細事	02 観光振興計画推進事業					
総合計画 基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進 [04 滞在型観光・スポーツ観光の促進]		主な財源				
目的	京丹後市観光立市推進会議を開催し、第3次京丹後市観光振興計画の進捗状況の検証等を行う。						
主要な事務・事業の概要	○京丹後市観光立市推進会議 ・委員報酬（委員22人） 全体会議（2回・令和2年9月4日、令和3年3月24日） ・費用弁償		179千円 140千円 39千円				
				成果・課題	○全国的にも珍しい安全・安心な市民生活と観光の両立を掲げた「安全で安心な市民生活と観光立市のための新型コロナウイルス感染症等対策条例」の策定に向け、観光立市推進会議において議論を行った。 ○観光振興計画の進捗管理に加え、ウイズコロナ、アフターコロナを見据えたうえで、「今すべきこと・準備すべきこと」について、多方面から助言をいただくことができ、新たな制度創設や次年度に向けた戦略形成の一助となった。		

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部						
	項	01 商工費							51,339千円	51,340千円	1千円	99.9 %		
	目	04 観光振興費											(参考)当初予算額	
	事	07 観光インフラ整備等促進実行調整費基金												10千円
	課	観光振興課												
細事	01 観光インフラ整備等促進実行調整費基金	財産収入	観光インフラ整備等促進実行調整費基金	利子収入	58千円									
総合計画 基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進 [04 滞在型観光・スポーツ観光の促進]		主な財源											
目的	観光地として魅力ある環境整備を推進することを目的とした観光インフラ整備等促進実行調整費基金への積立金													
主要な事務・事業の概要	○観光インフラ整備等促進実行調整費基金積立金		51,281千円											
	(令和元年度入湯税収入相当額 51,281,400円)													
	○観光インフラ整備等促進実行調整費基金積立金(利子分)		58千円											
(参考)基金の状況		(単位：千円)												
令和元年度末 現在高	令和2年度中増減額			令和2年度末 現在高										
①	繰入金	運用利子	積立金	④	①-②+(③+④)									
100,903	34,255	58	51,281	117,987										
(充当：1事業)														
・観光インフラ整備等促進事業														
夕日ヶ浦温泉温泉管改修工事補助、上野区砂浜清掃用機械補助														
及び桜尾温泉水中ポンプ等取替補助ほか														
		成果・課題												

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 8,607千円	最終予算額 9,093千円	不用額 486千円	執行率 94.6 % (参考)当初予算額 9,093千円	部 商工観光部
	項	01 商工費					
	目	05 観光等施設費					
	事	01 海浜等施設管理事業					
	細事	01 海浜等施設管理事業					
総合計画 基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進 [04 滞在型観光・スポーツ観光の促進]		主な財源				
目的	海水浴場等にある観光関連施設（トイレ、休憩所等）の清掃及び修繕等維持管理を行い、海岸地域の美化と観光客等の利便性及び快適性の向上を図る。						
主要な事務・事業の概要	○需用費 4,352千円		○使用料及び賃借料 273千円				
	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品（トイレトーパー、清掃用品等） 81千円 ・光熱水費（電気料金・上下水道料金） 2,984千円 ・修繕料（シャワー修繕、トイレ修繕等） 1,287千円 		<ul style="list-style-type: none"> ・土地借上料（中浜オートキャンプ場用地） 163千円 ・仮設トイレ借上料（小浜海水浴場） 110千円 				
主要な事務・事業の概要	○役務費 1,202千円						
	<ul style="list-style-type: none"> ・手数料（し尿汲取手数料、浄化槽法定検査手数料等） 1,142千円 ・保険料（火災保険料） 60千円 						
主要な事務・事業の概要	○委託料 2,780千円						
	<ul style="list-style-type: none"> ・海浜施設維持管理 735千円 （トイレ、脱衣所、シャワー室、休憩所等） ・浄化槽維持管理委託料（琴引浜西トイレ） 618千円 ・海水浴場清掃美化業務委託料（海水浴場排出ごみ） 1,427千円 						
				成果・課題	○海水浴場等に設置しているシャワー・トイレ、脱衣所、炊事棟等を適切に維持管理し、快適な利用環境を提供することができた。 ○安全で快適な利用環境を確保するため、緊急性の高いものから計画的に修繕を進めていく必要がある。		

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 14,026千円	最終予算額 14,466千円	不用額 440千円	執行率 96.9 % (参考)当初予算額 14,466千円	部 商工観光部												
	項	01 商工費																	
	目	05 観光等施設費																	
	事	02 自然公園管理事業																	
	細事	01 自然公園管理事業																	
総合計画 基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進 [04 滞在型観光・スポーツ観光の促進]		主な財源	府委 国立公園・国定公園管理委託金 8,459千円															
目的	京都府から管理委託を受けた国立公園及び国定公園区域内にある公園施設等の適正な維持管理を行い、自然公園の環境保全及び活用を促進する。																		
主要な 事業の 概要	山陰海岸国立公園、丹後天橋立大江山国定公園にある京都府管理の自然公園施設（京都府から本市へ管理委託され、市は地元区等に再委託）の維持管理及び環境保全を行った。			【参考】															
	<ul style="list-style-type: none"> ○自然公園施設等管理委託料（12園地・4遊歩道） 6,138千円 ○自然公園内ごみ収集委託料（5園地） 2,555千円 ○トイレ清掃・水道施設管理委託料、バイオトイレ維持管理委託料 1,220千円 ○し尿汲取手数料（7園地） 1,786千円 ○修繕料（五色浜園地トイレ修繕、犬ヶ岬園地トイレ修繕） 18千円 ○通信運搬費（経ヶ岬園地水道施設遠方監視システム） 31千円 ○消耗品費、光熱水費（10園地） 2,097千円 ○火災保険料（五色浜園地給水装置機械室棟、丹後松島トイレ） 9千円 ○土地借上料（後ヶ浜園地トイレ用地、経ヶ岬園地駐車場用地） 160千円 ○補修用原材料費 10千円 ○旅費 2千円 			<table border="1"> <thead> <tr> <th>自然公園名</th> <th>町名</th> <th>園地等の名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">山陰海岸国立公園</td> <td>久美浜町</td> <td>かぶと山、大向、湊宮、葛野、箱石</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>浜詰、夕日ヶ浦、五色浜</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">丹後天橋立大江山国定公園</td> <td>網野町</td> <td>小浜、掛津、遊、三津</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>後ヶ浜、犬ヶ岬、丹後松島、経ヶ岬</td> </tr> </tbody> </table>				自然公園名	町名	園地等の名称	山陰海岸国立公園	久美浜町	かぶと山、大向、湊宮、葛野、箱石	網野町	浜詰、夕日ヶ浦、五色浜	丹後天橋立大江山国定公園	網野町	小浜、掛津、遊、三津	丹後町
自然公園名	町名	園地等の名称																	
山陰海岸国立公園	久美浜町	かぶと山、大向、湊宮、葛野、箱石																	
	網野町	浜詰、夕日ヶ浦、五色浜																	
丹後天橋立大江山国定公園	網野町	小浜、掛津、遊、三津																	
	丹後町	後ヶ浜、犬ヶ岬、丹後松島、経ヶ岬																	
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○観光客に安全で快適な環境を提供するため、自然公園施設等の維持管理及び環境保全を実施した。 ○改修の必要な施設や撤去・修繕の必要な看板について、常時現状把握を行い、京都府へ早急な対応を求めていく必要がある。 																		

予 算 科 目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部								
	項	01 商工費							147,994千円	148,043千円	49千円	99.9%				
	目	05 観光等施設費											(参考)当初予算額			
	事	03 観光等施設指定管理運営事業												113,054千円	課	観光振興課
	細事	01 指定管理施設運営事業														
総合計画 基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進 [04 滞在型観光・スポーツ観光の促進]	主な財源	府補	きょうと地域連携交付金（指定管理者休業協力金）	7,000千円											
			諸収入	弥栄あしぎぬ温泉電気代等負担金	9,143千円											
			市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）	50,200千円											
目	観光関連施設の効果的かつ効率的な管理運営と利用者サービスの向上を図るため、指定管理者に施設の管理運営を委託するとともに、施設設備の適切な維持管理を行う。															
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○委託料		99,972千円		○指定管理者休業協力金（宇川温泉よし野の里を除く、11施設）		19,050千円									
	・電気設備保守、PCB等分析委託料（弥栄あしぎぬ温泉）		537千円		○需用費（弥栄あしぎぬ温泉電気代等）		9,012千円									
	・害虫駆除委託料（かぶと山園地）		33千円		○役務費		1,521千円									
	・特殊建築物等報告業務委託料		1,617千円		・水質検査等手数料、ごみ持込処理手数料等		506千円									
	（浅茂川温泉静の里、はしうど荘、宇川温泉よし野の里、弥栄あしぎぬ温泉、森林公園スイス村）				・火災、自動車損害保険料		1,015千円									
	・設備保守管理委託料（センサー交換、チップサイロ抜出）		207千円		○使用料及び賃借料		1,839千円									
	（宇川温泉よし野の里、浅茂川温泉静の里）				・土地借上料（施設用地（全9か所））		1,332千円									
	・指定管理委託料		97,578千円		・機械器具借上料（AED16台）		507千円									
					○宇川温泉よし野の里施設改修に伴う休業損失補償金		16,600千円									
					休業期間：令和2年2月22日～令和3年3月31日											
				成 果 ・ 課 題	○令和3年度からの新たな指定管理期間に向け、公募等により指定管理者を選定した。											
					○民間事業者のノウハウを活かし、観光施設の適切な運営と維持管理を行うことができた。											
					○老朽化が進む施設において、安全性・快適性が確保できるよう、適切な維持管理を行っていく必要がある。											
					○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、施設へ休業を要請するなど、状況に応じた施設運営が必要であった。											
施設名	金額	施設名	金額													
天女の里	9,700千円	宇川温泉よし野の里	10,190千円													
小町公園	3,467千円	高嶋園地	15千円													
浅茂川温泉静の里	18,692千円	森林公園スイス村	33,358千円													
道の駅てんきてんき丹後	743千円	弥栄あしぎぬ温泉	8,054千円													
はしうど荘	4,257千円	久美浜豪商「稲葉本家」	6,295千円													
碓高原ステーキハウス	774千円	かぶと山公園	2,033千円													
		合計	97,578千円													

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部					
	項	01 商工費	215,230千円	237,158千円	21,928千円	90.7%							
	目	05 観光等施設費				(参考)当初予算額	課	観光振興課					
	事	03 観光等施設指定管理運営事業				197,076千円							
	細事	02 指定管理施設大規模改修事業	市債	観光施設整備事業債（合併特例債）			151,300千円						
総合計画 基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進 [04 滞在型観光・スポーツ観光の促進]		主な財源										
目的	観光関連の指定管理施設において、大規模な施設改修・修繕を市が行い、施設の適切な維持管理に努める。												
主要な 事務・ 事業の 概要	○修繕料		8,539千円	○備品購入費等（宇川温泉よし野の里業務用食器洗浄機等）		1,492千円							
	・浅茂川温泉静の里熱交換用配管、プールボイラー修繕等		2,795千円	○委託料		16,293千円							
	・弥栄あしぎぬ温泉ろ過ポンプ、送湯ポンプ等取替		1,167千円	・工事設計業務（碓高原ステーキハウスエアコン改修工事ほか）		990千円							
	・小町公園庭園休憩所柱等改修		954千円	・宇川温泉よし野の里泉源調査等業務		12,981千円							
	・天女の里浄化槽鋼製蓋、コテージ壁補修等		681千円	・施設清掃委託料、雑木伐採委託料、畳張替業務委託料等		2,322千円							
	・森林公園スイス村空調設備修繕、受水槽給水配管修繕等		1,533千円	○手数料（ごみ持込処理手数料、倒木処理手数料等）		345千円							
	・宇川温泉よし野の里給湯機修繕、露天風呂竹垣仮設補強等		1,045千円	○補償金（かぶと山公園樹木伐採に係る補償金）		60千円							
	・高嶋園地トイレ及び炊事棟漏水修繕等		208千円	<table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>215,487千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.9%</td> </tr> </table>		参考	繰越明許費を除いた最終予算額	215,487千円		実質的な予算執行率	99.9%		
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	215,487千円										
		実質的な予算執行率	99.9%										
・道の駅てんきてんき丹後製氷機修繕		156千円											
○工事請負費（設計・管理委託料含む）		188,501千円	■令和3年度への繰越事業										
・浅茂川温泉静の里プール管理室排煙窓改修工事等		2,483千円	・あしぎぬ温泉空調改修工事（令和3年6月完了）		7,471千円								
・かぶと山キャンプ場テントサイト金物取付工事		260千円	・ステーキハウスエアコン改修工事（令和3年6月完了）		14,200千円								
・道の駅てんきてんき丹後エアコン改修工事		5,148千円											
・森林公園スイス村レストラン空調設備取替工事等		2,735千円											
・宇川温泉よし野の里サウナ室・浴室改修工事等		114,252千円											
・宇川温泉よし野の里ポンプ室移設等工事		50,166千円											
・弥栄あしぎぬ温泉中央監視装置取替工事		9,296千円											
・丹後温泉はしうど荘ロビー空調機取替工事等		4,161千円											
成果・課題	○必要な修繕等を実施することにより、公共施設を適正に保全するとともに、利用者の安全性、利便性及び快適性を確保することができた。 ○老朽化による不具合箇所の進行を早期発見し、予防措置を講じることにより損傷の拡大を防ぐ必要がある。												

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部						
	項	01 商工費							23,242千円	23,632千円	390千円	98.3 %		
	目	05 観光等施設費											(参考)当初予算額	
	事	50 観光等施設一般経費												20,360千円
	細事	01 観光等施設一般経費												
総合計画 基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進 [04 滞在型観光・スポーツ観光の促進]	主な財源	府委	碓高原畜産展示資料館管理委託金(10/10)	905千円									
目的	市内の公園、トイレ、休憩所等の公共用施設を適切に維持管理することにより、市民、観光客等の憩いの場としての環境づくりを推進する。		諸収入	丹後温泉電力料	305千円									
			諸収入	丹後温泉源泉管理負担金	231千円									
			諸収入	温泉管移設補償金	2,068千円									
			諸収入	市有建物災害共済保険料負担金	16千円									
主要な事務・事業の概要	○施設管理委託料(清掃、草刈り、水質検査、機械警備等) 9,384千円		<ul style="list-style-type: none"> ・土地借上料(ブナハウス内山用地ほか) 835千円 ・原材料費(駐車場砕石等) 11千円 ・負担金(おおみや小町温泉温泉源スタンド電気料負担金) 29千円 ・斎宮神社屋外公衆トイレ解体撤去工事設計業務委託料 429千円 ・斎宮神社屋外公衆トイレ解体撤去工事 1,834千円 ・その他工事請負費 3,915千円 (誘導看板撤去、丹後温泉温泉管撤去、温泉元送水ポンプ取替ほか) 											
	○その他の維持管理経費 13,858千円		成果・課題	清掃、修繕等維持管理を適切に行った。また、利用者が安全・快適に使用できる施設環境を提供できた。										
	・消耗品費(施設管理用消耗品等) 71千円													
	・燃料費(離湖管理棟灯油代) 7千円													
	・光熱水費(トイレ等電気料、上下水道使用料等) 1,058千円													
	・修繕料等(内山ブナ林散策道木製階段等) 5,221千円													
	・通信運搬費(離湖公園電話料等) 32千円													
	・手数料(し尿汲取手数料等) 259千円													
	・保険料(建物火災保険・自動車損害保険) 157千円													

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 482千円	最終予算額 615千円	不用額 133千円	執行率	部 商工観光部	
	項	01 商工費				78.3 %		
	目	05 観光等施設費				(参考)当初予算額		
	事	50 観光等施設一般経費				615千円		課 観光振興課
	細事	01 観光等施設一般経費(繰越)						
総合計画 基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進 [04 滞在型観光・スポーツ観光の促進]		主な財源					
目的	浜詰区が整備する「浜詰 夕日の丘」に合わせて、支障となる市設置トイレへの引込電柱等の移設工事を行う。							
主要な事務・事業の概要	○引込線変更工事		253千円					
	○架空配電線路移設工事補償金		229千円					
			成果・課題	「浜詰 夕日の丘」の整備に合わせ、支障となるトイレ用引込電柱の撤去及びケーブルの地中化を行い、オープンまでに景観を整えることができた。				

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額 13,641千円	最終予算額 13,891千円	不用額 250千円	執行率 98.2 % (参考)当初予算額 0千円	部 市長公室	
	項	01 総務管理費						
	目	07 企画費						
	事	14 ふるさとブランド推進事業						
	細事	01 ふるさとブランド推進事業【再掲】						
総合計画 基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営） [29 効率的・効果的な行財政運営]		主な財源 国補	地方創生推進交付金（1/2） 2,273千円				
目的	地域、関係団体等との連携やデータ分析に基づくプロモーションにより、ふるさと納税を活用した地域ブランディング及び地域経済の活性化を目指す。							
主要な 事務・ 事業の 概要	○プロモーション経費 10,956千円 ・京丹後市ふるさと納税特設サイト導入経費 3,058千円 返礼品だけでなく、本市の豊かさや生産者の想いなども発信するサイト 開設日：令和2年11月2日 ・プロモーション支援業務委託料 4,546千円 特設サイト内特集記事の作成、返礼品写真撮影など ・ポータルサイト統合クラウドシステム導入経費 1,188千円 複数のふるさと納税ポータルサイトの寄附データを統合管理 ・同窓会案内文書発送業務委託料（峰山高校、久美浜高校） 1,009千円 本市出身者への呼びかけ実施、対象：8,168人（令和2年11月9日発送） ・ふるさと納税PR経費 1,155千円 PRチラシ作成（A4版×15,000枚、ハガキ×15,000枚） 広告料（新聞及びWeb媒体）、懸垂幕（推進月間）、デザイン使用料			○地域ブランド創出モデル事業委託料【所管：商工振興課】 2,497千円 【新商品開発】 ・織物関連や食品加工等の6次化商品の開発に取り組み市内事業者ら6者が参加（出来上がった商品のうち2商品が市ふるさと納税サイトに掲載） ・月1回の開発会議をインフルエンサーと実施（全6回） 【情報発信】 ・SNS等により開発過程及び商品を発信（合計リーチ数69,000） ※リーチ数：情報が届いたユーザー数のこと ・開発商品と開発過程をPRする映像を制作しYouTubeで発信 【テストマーケティング】 1月 大学生イベント（大阪市）にて商品モニターアンケートを実施 2月 大阪市内商業施設での物産展は新型コロナウイルス感染症の影響により中止 3月 成果発表会を開催（京丹後市内）				
	○事務経費 188千円 ・旅費、有料道路通行料 37千円 ・消耗品費（事務用品）、備品購入費（パソコン1台） 151千円			成果・課題	○ポータルサイト統合システムの導入により複数サイトの寄附データ、返礼品データを一元的に管理し、データ分析の効率化を図ることができた。 ○インフルエンサーの活用により、消費者目線での共同開発による新たな商品作り、従来リーチしづらかった若者世代への情報発信を実施できた。 ○特設サイトを認知してもらうためのキャンペーン企画の実施、PRを展開していく必要がある。 ○実践的なテスト販売の機会の創出が課題であり、物産展等に加えて、コロナ禍でも実施できるECサイト等の活用にも取り組む必要がある。			

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額 27,621千円	最終予算額 29,923千円	不用額 2,302千円	執行率 92.3 % (参考)当初予算額 31,307千円	部 市民環境部																						
	項	01 保健衛生費																											
	目	07 環境衛生費																											
	事	08 海岸漂着物対策推進事業																											
	細事	01 海岸漂着物対策推進事業【再掲】																											
総合計画 基本計画	05 次世代への美しい自然環境の継承 [05 次世代への美しい自然環境の継承]		主な財源	府補 海岸漂着物地域対策推進事業補助金 (8/10・10/10) 23,982千円		府委 海岸漂着物対策事業委託金 1,336千円																							
目的	海岸における良好な景観及び環境の保全を図るため、地区等に委託して海岸漂着物等の回収・処理を行うとともに、発生抑制対策事業を実施することで、海洋汚染及び海岸漂着物対策を推進する。																												
主要な事務・事業の概要	【海岸清掃及び海岸漂着物の市外処理の実施】			【海岸ごみ拾いイベント「拾ってつなぐ丹後の海」の実施】																									
	<ul style="list-style-type: none"> ○海岸漂着物処理手数料 17,454千円 <ul style="list-style-type: none"> ・海岸漂着物処理量 213.75 t ○環境保全負担金（廃棄物受入先） 208千円 ○海岸漂着物回収処理委託料（地元区・地元団体） 9,556千円 <ul style="list-style-type: none"> ・府管理海岸 5,759千円 ・市管理海岸 3,797千円 <p><補助事業実施海岸></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>海岸名</th> <th>管理</th> <th>担当課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">久美浜</td> <td>箱石湊宮葛野海岸</td> <td>府</td> <td rowspan="8">観光振興課</td> </tr> <tr> <td>蒲井東海岸</td> <td>市</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">網野</td> <td>浜詰海岸、浅茂川海岸、小浜海岸</td> <td>府</td> </tr> <tr> <td>琴引浜（遊・掛津）</td> <td>市</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">丹後</td> <td>後ヶ浜海岸、上野平海岸、久僧海岸</td> <td>府</td> </tr> <tr> <td>砂方漁港海岸、竹野海岸、中浜海岸、袖志海岸</td> <td>市</td> </tr> <tr> <td>上向下向海岸、尾和海岸、岩田海岸、此代海岸</td> <td>府</td> <td>管理課</td> </tr> </tbody> </table>			地域	海岸名	管理	担当課	久美浜	箱石湊宮葛野海岸	府	観光振興課	蒲井東海岸	市	網野	浜詰海岸、浅茂川海岸、小浜海岸	府	琴引浜（遊・掛津）	市	丹後	後ヶ浜海岸、上野平海岸、久僧海岸	府	砂方漁港海岸、竹野海岸、中浜海岸、袖志海岸	市	上向下向海岸、尾和海岸、岩田海岸、此代海岸	府	管理課	<ul style="list-style-type: none"> ※大宮中学校1年生 84人対象（環境学習10/2、海岸清掃10/6） ○スクールバス運行管理委託料 33千円 <p>【「みんなの問題・海のごみ」写真パネル展の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ショッピングセンターマイン（12/15～12/25）、市役所（1/5～1/15） ○イベント資材送料 3千円 ○イベント資材借上料 4千円 <p>【海岸漂着物発生抑制教材「ごみの分け方・出し方」パンフレットの作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ※市内全戸配布（令和3年2月） ○リーフレット作成委託料（25,000部） 363千円 		
地域	海岸名	管理	担当課																										
久美浜	箱石湊宮葛野海岸	府	観光振興課																										
	蒲井東海岸	市																											
網野	浜詰海岸、浅茂川海岸、小浜海岸	府																											
	琴引浜（遊・掛津）	市																											
丹後	後ヶ浜海岸、上野平海岸、久僧海岸	府																											
	砂方漁港海岸、竹野海岸、中浜海岸、袖志海岸	市																											
	上向下向海岸、尾和海岸、岩田海岸、此代海岸	府		管理課																									
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○市内17海岸で海岸清掃を行い、景観保護と環境保全を行うことができた。 ○海岸ごみ拾いイベント等啓発事業の実施及び啓発教材の作成・活用により、海ごみ問題の現状や課題、ごみ排出当事者としての自覚と抑制の意識転換を促す機会を提供できた。 ○事業継続と財源確保に向けて、引き続き、国及び府に対して支援を求めていく必要がある。 																												